WILLCOM

WX330J E
（非防水タイプ）
クイックマニュアル

■ クイックマニュアルについて

「WX330J E クイックマニュアル（本書）」は
「WX330J シリーズ 取扱説明書」の内容を一部抜粋したものです。

クイックマニュアルに記載されていない取扱説明書の内容は、下記の方法でご覧いただけます。

・同梱のCD-ROMから閲覧する。
・弊社ホームページ（http://www. jrcphs.jp/）から閲覧する。

取扱説明書を冊子（有料）でご希望の方は、JRCサポートセンター（☞裏表紙）までお問い合わせください。

ご 注 意

・本書の内容は、機器改善のため予告なしに変更することがあります。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

JRC 日本無線株式會社

はじめに

このたびは、「WX330J E」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本電話機を正しくお使いください。

ご使用にあたって

- 本電話機のご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、裏表紙の「お問い合わせ窓口」に記載されているウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。
- できるだけ電波の強い所でご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本あるいは5本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- 繁華街など人通りの多い所では、通行の妨げにならない場所でご使用ください。
- オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。
- 一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。
- 電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。
- 本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。
- お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。
ご利用にあたり株式会社ウィルコム、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：VeriSign, Inc. RSA Data Security, Inc. Entrust.net

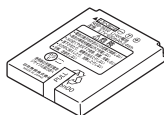
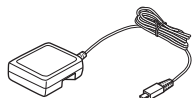
ご不要となりました電話機本体、電池パック、卓上ホルダおよびＡＣアダプタは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、クイックマニュアルの乱丁･落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　WX330J E（1台）

●電池カバー（1個）

●リチウムイオン電池パック NBB-9650（1個）

●ACアダプタ NBA-9650（1台）

●クイックマニュアル（1部）

●卓上ホルダ NQE-9660（1台）

●保証書（1部）

●CD-ROM（1枚）
（取扱説明書はPDFファイルとしてご覧いただけます。）

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。なお、保証期間中でも有料となることがあります。保証書の記載内容をご確認ください。

目　次　　WX330J E クイックマニュアル

「WX330J E クイックマニュアル（本書）」は「WX330J シリーズ 取扱説明書」の内容を一部抜粋したものです。

クイックマニュアルに記載されていない取扱説明書の内容は、下記の方法でご覧いただけます。

- 同梱のCD-ROMから閲覧する。
- 弊社ホームページ（http://www. jrcphs.jp/）から閲覧する。

安全上のご注意—必ずお守りください

- **ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後はこの取扱説明書を大切に保管してください。**
- **ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

⚠	**危　険**	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠	**警　告**	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠	**注　意**	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	接触禁止	触れてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

注意	注意を示します。

[免責事項について]

- 地震、雷、風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器（パソコンなど）、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の故障、修理、その他取扱いによって、ダウンロードしたデータなどが変化または消失することがありますが、これらデータの修復により生じた損害、逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

電話機本体、電池パック、卓上ホルダおよびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 危　険

指示

本電話機に使用する電池パック、卓上ホルダおよびＡＣアダプタは、下記指定のものをご使用ください。

・リチウムイオン電池パック　NBB-9650

・ACアダプタ　NBA-9650　　・卓上ホルダ　NQE-9660

上記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

電池パックの液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火や、本電話機、卓上ホルダおよびＡＣアダプタの発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。

⚠ 警　告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注　意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

次ページにつづく

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。
火災や故障の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。

注意

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

電話機本体の取扱いについて

⚠ 警　告

指示

ハンズフリー通話やスピーカ受話の際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。
難聴になる可能性があります。

指示

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。
そのままご使用になると、火災の原因になります。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

禁止

ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

航空機内など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。
電子機器に影響をおよぼす場合があります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

＊ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

屋外で使用中に雷が発生した場合は、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
振動や着信音が身体に影響を与える原因となります。

禁止

医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。
電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。乗り物を運転しながらPHS電話機等を使用することは、危険なため法律で禁止されており罰則の対象となります。自動車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。
感電や故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、けがなどの事故または故障の原因となります。

病院内でのご利用にあたっては､必ず各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

人の多い場所では、使用しないでください。
本電話機が人に当たり、けがの原因となります。

⚠ 注　意

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
破損や故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なう原因となります。

本電話機を胸ポケットに入れたまま、かがまないでください。
本電話機が落下して､故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。
キャッシュカード､クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。
転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり､雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。

次ページにつづく

指示

本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

指示

外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのAV･OA機器および自動車、オートバイなどがあります。

電池パックの取扱いについて

この電池パックは有機溶媒等の可燃物を使用しています。取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ionOO	リチウムイオン電池

⚠ 危　険

禁止

電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。

高温になると危険を防止するための保護装置が働いて充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、熱により樹脂セパレータが損傷した場合には、電池パックがショート状態となり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

禁止

電池パックには、プラス･マイナスの向きが決められています。電池パックを本電話機にうまく接続できない場合は無理に接続しないでください。また電池パックのプラス･マイナスの向きを確かめてから接続してください。

電池パックのプラス・マイナスを逆に接続すると、電池パックが逆に充電されて内部で異常な化学反応が起こったり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

禁止

絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックが破裂したり、変形したりして、内部でショート状態になり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

指示

電池パックの充電には、専用の卓上ホルダおよびACアダプタまたはパソコンとUSBケーブルを使用してください。

その他の改造した充電器などで充電しますと、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起す原因となります。

電池パックの内部の液が漏れだした場合は､絶対に素手で触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合があります。万一、目に入った場合は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で洗い落として、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える結果となります。

水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱、発煙、破裂、発火や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パックの（+）と（−）の端子を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火したり､あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱したりする原因となります。

分解､改造をしないでください。また､直接ハンダ付けしないでください。

電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと､発熱､発煙、破裂、発火の原因となります。また熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。

発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。

高い電圧を加えられることによって電池パックに過大な電流が流れ、発煙、破裂、発火の原因となります。この電池パックを指定機器以外の用途に使いますと､電池パックの性能や寿命が低下したり､機器によっては､異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱､発煙､破裂､発火の原因となります。

⚠ 警　告

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした溶解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は､充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは､本電話機から取り外し､使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

次ページにつづく

ぬれ手禁止

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

⚠ 注　意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

電池パックの充電温度範囲は10℃～40℃です。
この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタの取扱いについて

⚠ 警　告

指示

ＡＣアダプタには必ずAC100Vを使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

禁止

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

充電中は卓上ホルダおよびＡＣアダプタを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダおよびＡＣアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
故障、けが、感電、火災の原因となります。

コードなどを持って卓上ホルダおよびＡＣアダプタを振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

コードが傷んだら使用しないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

コードを無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。
故障や感電、火災の原因となります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタのすき間などに金属や異物を差し込まないでください。
感電や故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。
発熱、火災の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。
感電、発熱、火災の原因となります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタから煙が出たり、異臭がするときは、すぐにＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。
そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントからＡＣアダプタの電源プラグを抜いてください。
火災、感電、故障の原因となります。

充電終了後はＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタの電源プラグを濡らさないでください。
電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

濡れた手で卓上ホルダ、ＡＣアダプタの電源プラグやコンセントに触れないでください。

⚠ 注　意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

次ページにつづく

ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

卓上ホルダおよびＡＣアダプタに乗らないでください。
＜特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください＞
転んだり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

ＡＣアダプタのコードの上に重いものをのせたり､改造したりしないでください｡
感電や火災の原因となります。

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。
製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

お手入れは乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。
濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

水につけたりしないでください。
おふろの中や水の中につけたりしないでください。また、雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついたときには、すぐに布で拭き取ってください。
汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた柔らかい清潔な布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35％～85％の範囲でお使いください。

本電話機を直射日光のあたる場所や、ほこりの多い場所ではご使用にならないでください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

お手入れは、乾いた柔らかい清潔な布で行ってください。

ディスプレイやケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい清潔な布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、高温多湿を避けて、本電話機から外して保管してください。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

電池パックは電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上ホルダおよびＡＣアダプタについてのお願い

周囲の温度が10℃～40℃の所でご使用ください。

次のような場所では充電しないでください。

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作や故障の原因となります。）
一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上ホルダおよびＡＣアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

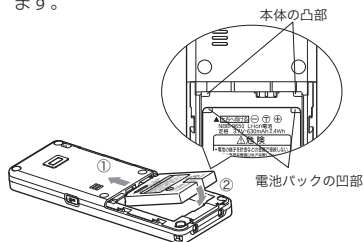
抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

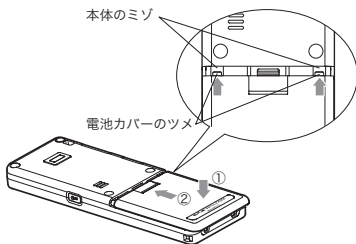
充電する

電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。

2 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。

3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

ご注意

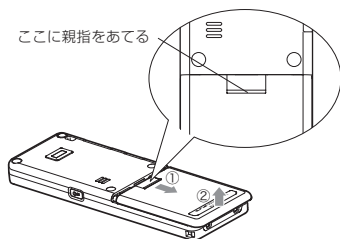
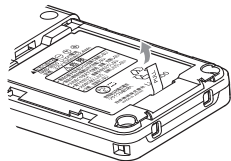
- 電池カバーはゆるみのないようにしっかり閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出す恐れがあります。

電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約1年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。
交換用の電池パック（NBB-9650）は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになれます。電池パックは次の手順で交換してください。

1 電源が入っているときは
[PWR] を約3秒以上押して電源を切る

2 電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。

3 電池パックのPULLテープを引っ張り電池パックを取り外す

4 新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

電池カバーを確実に取り付けてください。

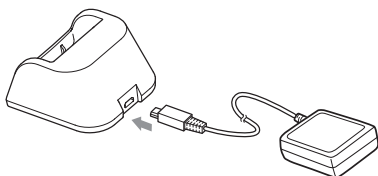
5 充電する

ご注意

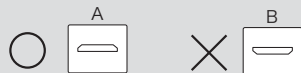
- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

卓上ホルダで充電する

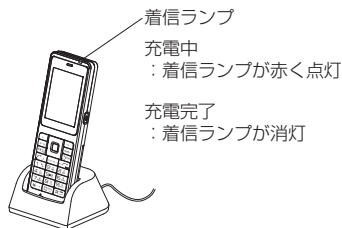
卓上ホルダとACアダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダに置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上ホルダの接続端子にACアダプタのコネクタを接続する

ご注意

- ACアダプタのコネクタを卓上ホルダに接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。
  下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、卓上ホルダの接続端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図）

2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

3 本電話機を卓上ホルダに置く

本電話機の背面底部を卓上ホルダの壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダのポケット内に確実に収まるように挿入してください。
本電話機を卓上ホルダに置くと、充電が始まります。

4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約2.5時間かかります。

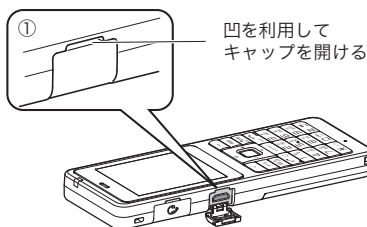
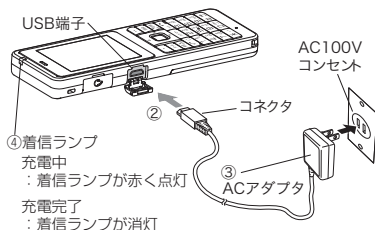
ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダに置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダに逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダの電源端子を時々清掃してください。端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダの置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。

ACアダプタで充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 本電話機のUSB端子のキャップを開ける

次ページにつづく

2 本電話機のUSB端子にACアダプタのコネクタを接続する

ご注意

- ACアダプタのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。
  下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。

（ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図）

3 ACアダプタをコンセント（AC100V）に差し込む

充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。

4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約2.5時間かかります。

5 充電が完了したらコンセントから抜きACアダプタのコネクタを本電話機から取り外す

充電が完了したらUSB端子のキャップを閉じてください。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を充電しないでください。
- ACアダプタでの充電は、USB充電の設定にかかわらず、「高速」で行われます。
- ACアダプタのコネクタを、本電話機以外に挿さないでください。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上ホルダに逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた柔らかい清潔な布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上ホルダに置き直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機、卓上ホルダおよびACアダプタの一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上ホルダに戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブルで接続して充電することもできます。
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。
- 充電中に電池パックが高温となった場合、充電状態を示す着信ランプは点灯しながらも、安全のため電池パックへの充電電流を一時停止し、満充電にならないことがあります。この場合は、電池パックの温度が下がるのを待って、充電を再開してください。
- 充電開始後、着信ランプが一瞬消灯することがありますが、異常ではありません。

USBで充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。
USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

USB充電を設定する

1 待ち受け画面で ■ 5 9 1

2 ● 1（高速）
● 2（低速）
● 3（OFF）

お知らせ

- 充電時間は、「高速」の場合約2.5時間、「低速」の場合約15時間です。本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 本電話機をUSBケーブルに接続するときには、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続するとUSB充電の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っていても同様に本電話機の電池を消費します。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。

USBドライバのインストール方法は取扱説明書「USBドライバのインストール」（☞ 5-4ページ）をご覧ください。

1 本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

「USB充電」が「高速」の場合は「」が、「低速」の場合は「」が表示され、充電が開始されます。
充電が完了すると「」「」は消えます。

お知らせ

- USBケーブルは同梱されておりません。
- 電池パックを外した状態で本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、画面に「」または「」が点灯した後「」が点灯し、再度「」または「」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

十分にあります。
まだあります。
少なくなりました。
ほとんどありません。すぐに充電してください。

■電池がなくなったときは

「ピーピーピーピー」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。

通話中の場合は、「ピーピーピー」という警告音が鳴ってから約３分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間※
公衆モード	約 6.5 時間	約 700 時間

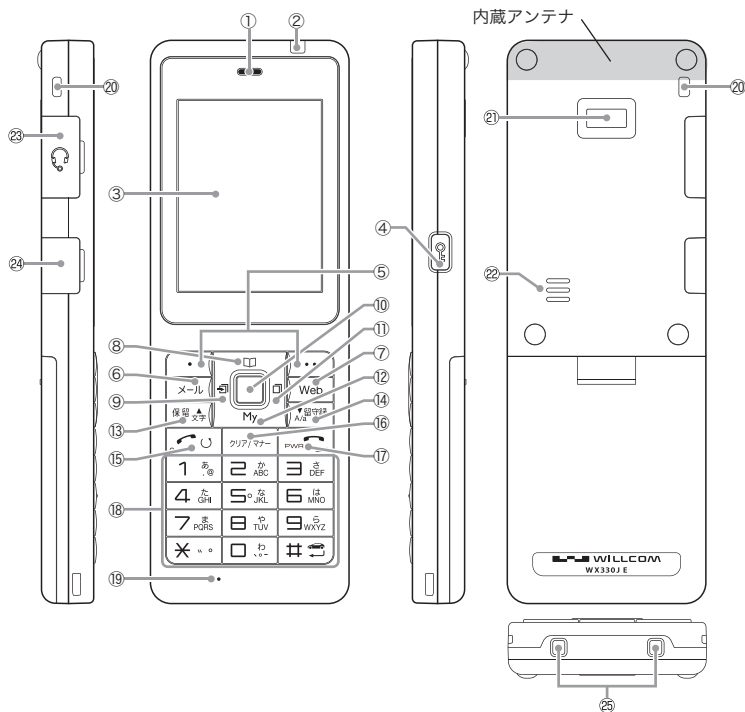
※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

お知らせ

- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間や連続待受時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネットなどのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

各部の名前

ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

①受話口（レシーバ）

②着信ランプ
　着信があったときなどに点滅します。

③画面

④サイドロックスイッチ
　キーロックの設定／解除を行います。

⑤カスタムボタン（ ）
　よく使う電話番号や機能を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。登録した機能は待ち受け画面の左下と右下にソフトキーとして表示されます。また、ソフトキーとして画面下に表示された機能を実行します。

⑥ メールメニューを表示します。

⑦ Webメニューを表示します。

⑧ 画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。

⑨ 画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。

⑩ 画面に表示された項目を確定します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、メインメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。

⑪ 画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。

⑫ 画面上の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、マイメニューを表示します。

⑬ [保留/文字] 通話中の電話を保留にします。
⑭ [留守録] 電話に出られないときに相手にメッセージを伝えたり、相手の音声を録音します。留守録音を設定／解除できます。
⑮ [発信] 電話をかけたり受けたりするときに押します。
⑯ [クリア/マナー] 入力した番号･文字を消去します。また、操作中の前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。
⑰ [PWR] 通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。
⑱ダイヤルボタン（[0]～[9]、[＊]、[#]）
電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。
⑲送話口（マイク）
⑳ストラップ取り付け穴
㉑赤外線ポート
赤外線通信を行うときに使用します。
㉒スピーカ
㉓イヤホンマイク端子
市販のイヤホンマイクを接続します。
㉔USB端子
USB ケーブルでパソコンと接続できます。
㉕充電端子

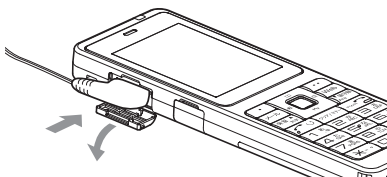
お知らせ

- ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

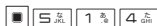
内蔵アンテナについて

アンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ付近を指や金属などで触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に内蔵アンテナ付近にシールなどを貼らないようにしてください。

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで再生されます。

イヤホン装着時の鳴動先を設定する

イヤホンマイクを装着している状態で電話がかかってきたときに、鳴動先を電話機本体にするか、イヤホンマイクにするかを設定します。

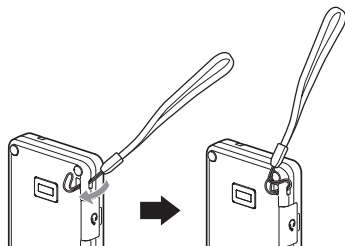
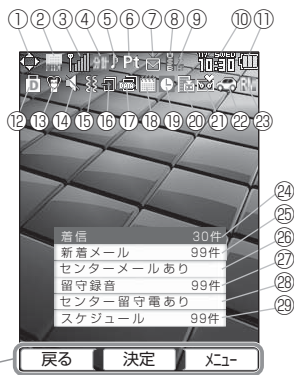
1 **待ち受け画面で**
[■][5][1][4]

2 ● [1]（本体）
電話がかかってきたときに、電話機本体が鳴動します。

● [2]（イヤホン）
電話がかかってきたときに、イヤホンマイクが鳴動します。

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。

お知らせ

- ハンドストラップは同梱しておりません。

画面の見かた

① 上下左右の項目を選択可能

上下の項目を選択可能

左右の項目を選択可能

② オフィスモード設定中

公衆／オフィスモード設定中

オフィス／公衆モード設定中

グループモード設定中

公衆／グループモード設定中

グループ／公衆モード設定中

転送モード設定中

③ 圏外、 ～ (公衆、オフィスモード)

受信している電波の強度を表示します。電波が強いほど通話に適しています。や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。圏外のときは通話できません。電波が弱く通話できないときは、電波の強い場所に移動してご使用ください。

弱い ← → 強い

待ち受けモードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態をのように表示します(上が公衆、下がオフィス）。

④ 料金分計設定中

呼び出し中、通話中

データ送受信中

SSL通信中
データ送受信中は点滅します。

Java™起動中

⑤ Web ページBGM再生中

⑥ パケット通信中

32kPIAFS通信中

64kPIAFSのベストエフォート通信中

64kPIAFSのギャランティ通信中

AO/DI（1xパケットと64kPIAFSの切り替え）通信中

未読メールあり

⑦ Eメールやライトメールの受信中

未受信のメールがサーバにあり

⑧ USBケーブルでパソコンと接続中
データ送受信中は点滅します。

⑨ USBケーブル経由で高速充電中

USBケーブル経由で低速充電中

⑩ 日付／時計表示

⑪ ～ 電池残量

充電中

充電するよう警告を表示しているときに点滅します。

⑫ ダイヤルロック
（キーロック起動、タイマ起動）設定中

⑬ マナーモード設定中

オートサイレントモード設定中

⑭ マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。

⑮ マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。

⑯ 履歴の確認されていない不在着信あり

⑰ データ呼の着信に応答しなかったときに表示されます。

⑱ 通知「なし」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。

⑲ 目覚まし設定中

⑳ 留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。

㉑ マナー留守録設定中

留守録設定中

未確認の留守録があるときに表示されます。

保存先の容量がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示されます。

㉒ 安全運転モード設定中

㉓ 国際ローミングまたはオフィスローミング設定中

位置情報機能設定中

㉔ 着信　○○件
応答しなかった着信の件数が表示されます。

㉕ 新着メール　○○件
メールを受信したときに表示されます。

㉖ センターメールあり
サーバにメールがあるときに表示されます。

㉗ 留守録音　○○件
留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。

㉘ センター留守電あり
留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。

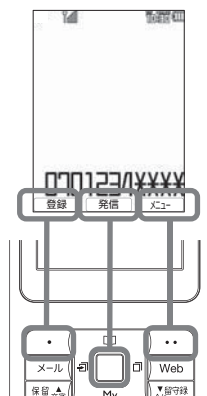
㉙ スケジュール　○○件
「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。

㉚ ガイダンス表示

お知らせ

- 「㉔着信」の表示は最大30件です。30件を越えた場合でも「30件」と表示されます。
- 「㉕新着メール」「㉗留守録音」「㉙スケジュール」の表示は最大99件です。99件を越えた場合は「**件」と表示されます。

ガイダンス表示について

画面の下端には、[・]、[■]、[・・] のその時点の機能が表示されます。

ガイダンス表示がないときは、[・]、[・・] はカスタムボタンとして機能する場合があります。

カスタムボタンについて

待ち受け画面や通話中画面で[・]または[・・]を押すと、自由に機能の設定できる「カスタムメニュー」が表示されます。
[・]で表示されるメニューをカスタムメニュー1、[・・]で表示されるメニューをカスタムメニュー2といいます。各カスタムメニューには6つまで、電話発信やライトメール／Eメールの起動など各種機能を設定し、機能を簡単に実行できるようにします。

詳しい設定は、取扱説明書「カスタムボタンを設定する」(☞7-15ページ)をご覧ください。

ボタンの使いかた

項目の選択と決定のしかた

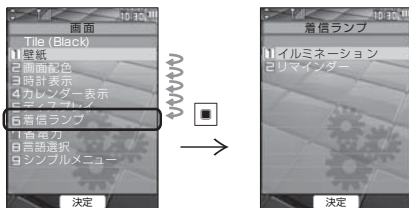
本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法があります。

上下左右ボタンで選択し、決定するには

1 上下左右ボタンで項目を選択する

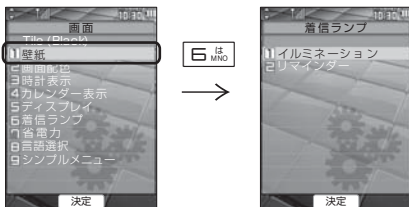
この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、[上下ボタン]で項目を選択します。
例えば「壁紙」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、[下ボタン]を５回押します。

2 [決定ボタン] を押す

「着信ランプ」の画面が表示されます。

ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に1、2、3…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

1 ダイヤルボタンを押す

例えば「着信ランプ」を選択する場合は[6 は MNO]を押します。

共通のボタン操作

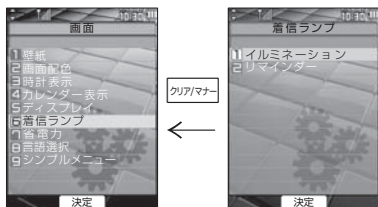
以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

1 [クリア/マナー] を押す

操作の途中で[クリア/マナー]を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。

スクロールする

1 [A/a 留守録] または [保留 文字] を押す

[A/a 留守録]で次の一覧を表示することができます。
また、[保留 文字]で前の一覧に戻ることができます。

待ち受け画面に戻る

1 [PWR] **を押す**

高速スクロールする

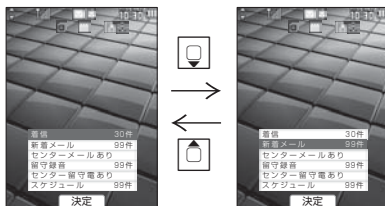
一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

1 [▲]**または**[▼]**を約1秒以上押したままにする**

画面上のカーソルが高速にスクロールします。[留守録]、[保留]も、ボタンを約1秒押したままにしておくと、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

1 **ポップアップ表示時** [▲▼] **で選択**

2 [■] **を押す**

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

- **ポップアップを消すには**
  [クリア/マナー]を押します。
- **ポップアップを再表示するには**
  [■]を約1秒以上押します。

メインメニューについて

待ち受け画面で[■]を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。メインメニューは[･･]（切替）を押すことでデザインを切り替えることができます。メインメニューの項目は[✥]で選択して[■]を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。

シンプルメニュー画面に切り替える

シンプルメニューに切り替えると、メニューの文字サイズが大きく表示されます。

設定する

1 **待ち受け画面で**

[■][5][3][9][1]

シンプルメニューが設定され、「設定しました」と表示されます。

解除する

1 **待ち受け画面で** [■]

2 [▲▼] **で「設定」を選択 ►** [■]

3 [▲▼] **で「画面」を選択 ►** [■]

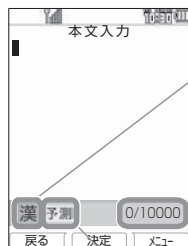
4 [9][2]

シンプルメニューが解除され、「解除しました」と表示されます。

シンプルメニューで文字サイズが大きくなるのは、メインメニューとその下の階層のメニュー、電話帳、発着信履歴、メール詳細画面（文字サイズが30dotに）、ブラウザ（表示倍率が125%に）などです。

文字を入力する

文字入力画面／入力モードについて

電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。入力モードは[保留/文字]で切り替えます。現在の入力モードは画面の左下に表示されます。

入力モード	入力できる文字
漢 漢字モード	ひらがな（あいうえお） 漢字
ア カタカナモード（全角）	全角カタカナ（アイウエオ）
ｱｲ カタカナモード（半角）	半角カタカナ（ｱｲｳｴｵ）
A 英字モード（全角）	全角英字（ＡＢＣＤＥ）
AB 英字モード（半角）	半角英字（ABCDE）
1 数字モード	半角数字（12345）

入力した文字数／入力できる文字数

漢 で予測変換が「ON」のとき表示される

ひらがなや漢字を入力する（漢字モード）

ひらがなや漢字は漢字モードで入力します。
ひらがなは、ダイヤルボタンを次の表の回数だけ押すことによって入力します。
漢字は、読みをひらがなで入力してから漢字に変換して入力します。変換には、予測変換によって自動的に変換する方法と[・]（変換）を押して変換する方法とがあります。

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
2	か	き	く	け	こ					
3	さ	し	す	せ	そ					
4	た	ち	つ	て	と	っ				
5	な	に	ぬ	ね	の					
6	は	ひ	ふ	へ	ほ					
7	ま	み	む	め	も					
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
9	ら	り	る	れ	ろ					
0	わ	を	ん	ー	、	。	？	！	～	全角スペース
#	改行									
*	゛	゜								

予測変換を利用する（予測変換）

漢字モードで予測変換が「ON」の場合、その時点で入力が予測される文字列の一覧が表示されます。

1　漢字モードで文字を入力する

2　[上下キー] で入力したい予測候補を選択 [決定キー]

選択した候補が入力されます。

● **予測変換候補画面について**

一覧の右上の数字は、選択した予測候補の番号と予測候補の総数です。[下キー]で予測候補の先頭、[上キー]で予測候補の末尾にカーソルが移動し、さらに[方向キー]でカーソルを上下左右に移動することができます。

■予測変換をON／OFFする

1　文字入力画面で [‥] [‥] [5]

漢字に変換する（漢字変換）

予測変換が「OFF」の場合は予測候補が表示されないので、漢字を入力するにはひらがなを漢字に変換する操作が必要です。

1　ひらがなで読みを入力 ►[上下キー] で変換

再度[上下キー]を押すと変換候補一覧が表示されます。

2　[方向キー] で変換候補を選択 [決定キー]

変換が確定し、文字が入力されます。

ひらがなをカタカナや英数に変換する（カナ英数変換）

漢字モードで入力したひらがなをカタカナ、英字、数字に変換します。

1　ひらがなを入力する ► [‥]

2　[方向キー] で変換候補を選択 [決定キー]

変換が確定し、文字が入力されます。

記号や絵文字を入力する

本電話機では記号や絵文字を入力することができます。記号や絵文字を入力できるのは、メールの本文や署名、ブックマークのタイトル、ページメモのタイトル、スケジュール、電話帳の名前、メモ帳、ユーザ辞書の単語、自作定型文などです。

1　文字入力画面で [‥] [1] または [2]

● **半角の記号しか入力できない場合は**

メールアドレスの入力画面など全角の文字が入力できない画面では、半角記号の選択画面のみ表示されます。

2　[・]、[‥] で入力したい記号／絵文字のページを表示する

各一覧画面は、ページを切り替えていくことですべて表示することができます。[‥]で次のページ、[・]で前のページを表示することができます。

3　[方向キー] で記号／絵文字を選択 [決定キー]

記号／絵文字が入力されます。

お知らせ

- Web入力用絵文字を使用してメールを送信した場合、相手の携帯電話によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は、対応しているウィルコムの電話機で使用できます。絵文字に対応していない機種や他社の電話機やパソコンなどにメールで送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。

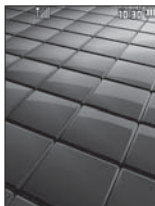
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [PWR] **を約2秒以上押す**

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- アニメーションの途中で[PWR]を押すと、アニメーションが中断され、すぐに待ち受け画面が表示されます。
- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、転送モード、公衆＋オフィスモード（デュアルモード）、公衆＋グループモード（デュアルモード）があります。

電源を切る

1 [PWR] **を約3秒以上押す**

「電源を切りますか？」と表示されます。

2 [▲] **で「YES」を選択** [■]

アニメーションが表示され、電源が切れます。

電源OFF確認メッセージの表示を設定する

電源を切る場合に、表示される確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ることができます。

1 **待ち受け画面で** [■] [5] [9] [3]

2 ● [1] （ON）

電源を切る場合に確認メッセージを表示します。

● [2] （OFF）

電源を切る場合に確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ります。

[1] ► [■]で「設定しました」、[2] ► [■]で「解除しました」と表示されます。

あらかじめ設定しておくと便利な機能

オンラインサインアップを行う

ウィルコムのオンラインサインアップサーバに接続して、電話機本体でWebページへの接続をする場合のダイヤルアップ設定やEメールアドレスの登録ができます。

1 待ち受け画面で [メール] [9] [1]

2 画面の指示に従って、操作を行う

[◇] で項目を選択し、[■] を押し、必要な情報を入力してください。
オンラインサインアップが完了すると、Eメールアドレス、パスワードなどのメールアカウント設定、ダイヤルアップ設定が、本電話機に自動的に設定されます。

お知らせ

- 同じユーザネームがすでに登録されている場合、そのユーザネームはご利用いただけません。別のユーザネームを指定し直してください。
- 機種変更で本電話機をご購入になった場合は、オンラインサインアップにより、機種変更前のEメールアドレスを継続してご使用になれます。
- 待ち受けモードが「公衆＋オフィス」でオフィス優先に設定されている場合でも、オンラインサインアップを行うことができます。

オンラインサインアップでEメールアドレスを作成する

オンラインサインアップで作成するのはEメールアドレスの＠（アットマーク）より前の部分で、自分で好きな文字列で作成できます。ただし、作成するにあたって次の注意点があります。

・使用可能文字数は、半角文字4文字～20文字です。
・半角英数字のほか、記号の「 _ 」（アンダーバー）、「-」（ハイフン）が使用できます。
・「.」（ドット）、「スペース（空白）」は使用できません。
・英字に大文字小文字の区別はありません。すべて小文字で登録されます。
・先頭文字は英文字にしてください。
・＠（アットマーク）より後ろは、あらかじめ決められたドメインが自動的に設定されます。

プロフィールを設定する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときのオフィス番号、自分の名前、フリガナ、Eメールアドレス、および住所などを記録するメモを表示できます。このうち公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス以外はユーザが登録します。

プロフィールを登録する

1 待ち受け画面で [■] [0]

2 [・] ► [◇] で入力する項目を選択 [■]

[名]：名前を入力します。
[カナ]：フリガナを入力します。
[@]：メールアドレスを入力します。
[メモ]：住所などのメモを入力します。

3 必要に応じて [◇] で入力する項目を選択 ► 各項目を入力・設定 ► [・]

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

1 待ち受け画面で [■] [0]

2 [◇] で表示したいアイコンを選択

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

[電話]：本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
[OFFICE]：オフィス面の名称とオフィス番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。
[@]：オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。
オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。
[@]：メールアドレスが表示されます。
メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。
[メモ]：メモが表示されます。[■]（確認）を押すと、メモの全文が表示されます。
メモが未登録の場合はアイコンは表示されません。
[Ver]：ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

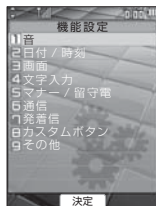
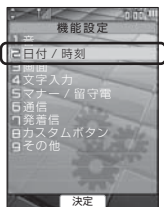
日時を設定する

本電話機の使用開始前に日時を設定してください。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。

1 待ち受け画面で［■］を押す

メインメニューが表示されます。

2 ［■］を押す

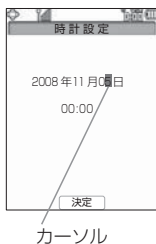
- 「機能設定」が選択されていないときは［✥］で「機能設定」を選択してから［■］を押してください。

3 ［⇕］で（日付／時刻）を選択する

4 ［■］を押す

ここに現在の設定内容が表示されます

5 ［■］を押す

- （時計設定）が選択されていないときは［⇕］で（時計設定）を選択してから［■］を押してください。

6 ［⇔］で年月日の直したい箇所にカーソル（点滅する四角）を移動し、［0］〜［9］で正しい数字を入力する

年は、西暦の下2桁だけが変更できます。
1桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて「01」のように入力してください。

7 年月日を直したら［⇕］でカーソルを時刻側に移動する

［⇕］で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。

8 ［⇔］で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、［0］〜［9］で正しい数字を入力する

9 正しい日時に合わせたら［■］を押す

完了音が鳴って「設定しました」とメッセージが表示され、日時が設定されます。

10 ［PWR］を押す

待ち受け画面に戻ります。

日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは6種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

1 待ち受け画面で [■][5][3][3]

2
- **[1]大（日本語）**
- **[2]大（英語）**
- **[3]中（日本語）**
- **[4]中（英語）**
- **[5]小（日本語）**
- **[6]小（英語）**
- **[7]OFF**

3 [◇]で画面パターンの表示位置を指定

表示可能な領域内であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置を画面の最下部に移動すると、ガイダンス表示の後ろに表示されます。

4 [‥]で表示色を選択

表示色は10色用意されています。
[‥]（色）を押すごとに表示色が変化しますので、お好みの色が選択できます。

5 [■] を押す

日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。

日時の自動補正を設定する

自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

1 待ち受け画面で [■][5][2][2]

2
- **[1]（ON）**
  「設定しました」と表示されます。
- **[2]（OFF）**
  「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- ネットワーク側と本電話機の時刻に約30秒以上のずれがあると自動補正されます。

カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。

1 待ち受け画面で [■][5][3][4]

2 [◇] でパターンを選択[■] を押す

カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **パターンを選択するには**
  カレンダーには10パターンがあり、[◇]または[保留▲文字]、[▼A/a留守録]でパターンを切り替えることができます。
- **パターンを一覧表示するには**
  [‥]（一覧）を押すと、パターンの一覧が表示されます。[0]～[9]のいずれかを押すと選択したカレンダーのパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

・警察…………………………………… 110
・消防・救急………………………… 119
・海上保安庁………………………… 118
・NTT災害伝言ダイヤル………… 171*[1]
・時報…………………………………… 117
・天気予報…………………………… 177
・番号案内…………………………… 104*[2]
・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）*[3]
・ポケットベル呼び出し
・フリーダイヤル*[4]

*1 詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。
*2 PHS電話番号はご案内できません。
*3 手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
*4 「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
・PHSからの通報であることを伝えてください。
・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

・電報…………………………………… 115
・NTTテレホンセンター………… 116*[5]
・コレクトコール…………………… 106
・ダイヤルQ²
・ナビダイヤル
・衛星船舶電話

*5 ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

1 画面にアンテナが表示されていることを確認する

●「圏外」が表示されているときは
電波が届いていないため、ご利用になれません。アンテナの表示される場所へ移動しておかけください。

2 [0]～[9]でダイヤル ► [発信]または[■]
電話がかかります。番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

3 相手が出たら通話する
相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、右下に通話時間が表示されます。

4 通話が終了したら[PWR]
画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

お知らせ

▪ 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
▪ サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなるので、聞き取りにくかったり途切れたりすることがあります。
▪ 移動しながら通話していると、「ポポ　ポポ」と鳴ることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わるハンドオーバの通知音です。ハンドオーバの際は一時的に通話が途切れることがありますが、故障ではありません。

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるとき、電話番号の前に「184」を付けると相手に番号が通知されず、「186」を付けると番号が通知されます。これらの番号は以下の操作により自動的に入力することができます。

1 [0]～[9]で相手の電話番号を入力 ► [・・]

2 電話番号を通知しないときは
● [2]　（184）

電話番号を通知するときは
● [3]　（186）

3 [発信]または[■]
電話がかかります。

記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、通話中に入力した番号メモを使用して電話をかけることもできます。

記録される内容

発信履歴
本電話機からかけた電話の記録です。
電話番号とかけた日時が30件まで記録されます。
- Lメール：ライトメールの発信
- 分計：分計発信
- 通録：未再生の通話録音が本体に保存
- 通録：再生済みの通話録音が本体に保存

着信履歴
本電話機にかかってきた電話の記録です。
発信者番号通知を設定している相手からの場合は、電話番号と日時が記録されます。
発信者番号非通知の場合は電話番号の代わりに非通知理由が記録されます。
- 応答：電話に出た
- 不在：電話に出なかった
- 拒否：着信拒否の相手からの電話
- Lメール：ライトメールの着信
- 通録：未再生の通話録音が本体に保存
- 通録：再生済みの通話録音が本体に保存
- 留録：未再生の留守録音が本体に保存
- 留録：再生済みの留守録音が本体に保存

番号メモ
通話中に番号メモとして入力した電話番号です。

発信履歴／着信履歴／番号メモで電話をかける

発信履歴／着信履歴／番号メモを表示して、記録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 待ち受け画面で ◁▷

▷ で発信履歴、 ◁ で着信履歴が表示されます。

2 ◁▷で「発信履歴」「着信履歴」「メモ」のいずれかを選択 ► ⇕で相手を選択 [通話]

表示されている相手に電話がかかります。

■リダイヤルする

待ち受け画面で[通話]を2回押すことで、前回かけた相手に電話をかけることができます。

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴／番号メモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発信履歴／着信履歴／番号メモのデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。

受話音量を調節する

1 通話中に ⇕

現在の音量レベルが表示されます。

2 ⇕ で音量を変更 ■

音量は △ で大きくなり、▽ で小さくなります。約60秒以上操作をしないと、その時点の音量が設定され通話画面に戻ります。

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

1 通話中に [保留]

「保留中」と表示され、設定している保留音が相手に流れます。

2 通話を再開するときは [保留] または [通話]

より強い電波を探す（パワーサーチ）

いま検知している公衆基地局よりも電波の強い公衆基地局を探します。パワーサーチにより、さらに安定したクリアな通話ができます。

1 待ち受け時または通話時に [保留] を約1秒以上押す

「パワーサーチ」という文字が点滅します。公衆基地局が見つかると「パワーサーチOK!」と表示され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- パワーサーチを行っても状態が変わらないことがあります。
- パワーサーチを行っても、電波の状態が悪い場所などではうまく公衆基地局を探せず圏外になることもあります。
- 通話時は3回までパワーサーチを実行することができます。

電話を受ける（着信）

電話に出るとき

かかってきた電話を受けます。

1 着信音が鳴る

画面が点灯し､｢着信中｣と表示されます。
相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合、名前も表示されます。
着信ランプの設定に従い、着信ランプが点滅します。

- **着信中に着信音を止めるには（クイックサイレント）**

着信を切断せずに着信音やバイブレータの振動を止めるには、[・]（マナー）または[PWR]を押します。この状態から着信を中断するには、[‥]（拒否）または[PWR]を、通話を始めるには[通話]を押します。

- **留守録音で応答するには**

[留守録]または[■]（留守録）を押します。

2 [通話]を押して通話

3 通話が終わったら[PWR]

画面左上に「通話終了」、右下に通話時間が表示されます。

相手の発信者番号が通知されないとき

発信者番号が非通知の相手からの着信では、非通知理由が画面に表示されます。

非通知理由	意味
ユーザ非通知	相手が発信者番号非通知に設定しています。
公衆電話発信	相手が公衆電話から発信しています。
通知不可能	国際電話などで発信者番号が通知できません。

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「[着信マーク]」と「着信○○件」が表示されます。
「[着信マーク]」と「着信○○件」は着信履歴を確認すると消えます。

通話中に電話がかかってきたとき（通信中着信）

「音声､PIAFS通信中着信」が「ON」の場合は、通話中に着信があると「プップッ　プップッ…」と鳴り、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。

- ・音声着信（通常の電話）の場合
  →「着信がありました」
- ・Eメール自動受信着信の場合
  →「センターにEメールがあります」
- ・データ着信の場合
  →「データ着信がありました」
- ・位置情報通知着信の場合
  →「位置情報通知着信がありました」

通話中着信のメッセージは[■]で消すことができます。

通話を終了すると、通話中の着信の件数が「着信○○件」と表示されます。通話中の着信は、待ち受け画面では[着信マーク]のマークが表示されます。

お知らせ

- ライトメールは、通話中は着信できません。
- 通話中に電話をかけてきた相手側には「ツーツーツー」という話し中の音が聞こえます。

通信中の着信を設定する

通信中の着信を受けるかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で[■][5][6][5][1]

2
- **着信を受けるときは[1]（ON）**
- **受けないときは[2]（OFF）**

設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

通話中の操作

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます（自分の声は録音されません）。メモリの空き容量一杯まで録音できます。ただし、保存先の空き容量が約3秒未満のときは、録音できません。

1　通話中に［留守録］

録音が開始され、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。

2　［■］（停止）

録音が終了し、「録音終了」と、「録音時間／録音可能時間」（時：分：秒）が表示されます。通話が終了したときや保存先の空き容量がなくなったときも録音は終了します。

小声で話す（ひそひそ通話）

小声でも相手に声が伝わるよう、送話音量を大きくします。あわせて受話音量も大きくなります。

1　通話中に［■］［4］

解除するには［■］（機能）を押し、［4］（ひそひそ通話解除）を押します。

ハンズフリー通話にする

ハンズフリー通話時は、本電話機を手に持たずに相手と通話することができます。相手の声は、本電話機背面のスピーカから聞こえます。

1　通話中に［■］［9］

解除するには［■］（機能）を押し、［9］（ハンズフリー解除）を押します。

スピーカ受話にする

相手の声を受話口（レシーバ）ではなく本電話機背面のスピーカで聞くことができます。こちら側の声は、相手に伝わりません。

1　通話中に［■］［8］

解除するには［■］（機能）を押し、［8］（スピーカ受話解除）を押します。

通話中に電話帳を検索する

通話中に電話帳を検索して電話番号など登録内容を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。

1　通話中に［■］［1］

元の画面に戻すには［クリア/マナー］を押します。
また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中にスケジュールを確認する

通話中にスケジュールを表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。

1　通話中に［■］［7］

2　［◎］でスケジュールを確認する日付を選択［■］
►［◎］でスケジュールを選択［■］

元の画面に戻すには［クリア/マナー］を3回押します。
また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

通話中に電話番号をメモする（番号メモ）

通話中に32桁までの電話番号を30件までメモすることができます。

1　通話中に［■］［5］

2　ダイヤルボタンで電話番号を入力［■］

登録しないで元の画面に戻すには［■］を押す前に［・］（戻る）を押すと、番号メモは登録されずに通話中画面に戻ります。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、通話中画面に戻ります。

通話中にメモ帳に入力する

通話中にメモ帳を表示したり入力したりすることができます。

1　通話中に［■］［6］

2　［・］►文字を入力［■］（決定）

3　ファイル名を編集［■］（決定）

元の画面に戻すには［クリア/マナー］を押します。また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

既存のメモの内容を表示するにはメモ帳一覧表示中に［◎］でメモを選択して［■］を押します。

通話中に自分の電話番号を確認する

通話中に本電話機の電話番号やEメールアドレスなどプロフィール情報を表示することができます。ただし、登録や編集は行えません。

1　通話中に［■］［0］

元の画面に戻すには［クリア/マナー］を押します。
また、何も操作せずに約60秒経過した場合も、元の画面に戻ります。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを、電話帳に登録しておくことができます。登録件数は最大で1000件です。

電話帳に登録する

電話帳を新規登録する

1 待ち受け画面で ■ 6 2

2 ⇕ で入力する項目を選択 ■

選択した項目の編集画面が表示されます。どの項目からでも入力できますが、名前、フリガナ、電話番号またはメールアドレスの最低3項目を入力しないと電話帳に登録できません。次の項目が入力・設定できます。

- 名 ｶﾅ 名前とフリガナを入力
- Gr グループを選択
- ☎ 電話番号と分類マークを入力
- @ メールアドレスと分類マークを入力
- メモを入力
- 電話の着信時に表示される画像を設定
- 短 短縮番号を設定
- シークレットを設定
  特に他人に知られたくない電話帳のデータをシークレットに設定しておくことができます。
- 電話やメールの着信音を選択
- 電話やメールの着信イルミネーションを選択

3 必要に応じて手順2を繰り返し、各項目を入力・設定 ► ⊡

メモリNo.の登録画面が表示されます。ただし「短縮設定」を「ON」にしている場合は、登録画面は表示されずに登録が完了します。

4 0 〜 9 でメモリNo.を入力 ■

メモリNo.は、「010」〜「999」の3桁の数字を入力します。
データが登録され、「メモリNo.○○○に登録しました」と表示されます。

- **自動でメモリNo.を登録するとき**
  メモリNo.を入力せずに ■ を押します。メモリNo.010以降の、空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

■名前とフリガナを入力する

名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角で32文字まで入力できます。

1 名前を入力 ■ ► ■

名前を入力して ■ を押すと、自動的に入力した読み（フリガナ）が表示されます。その読みのままでよければ ■ を押します。名前とフリガナが表示された電話帳登録画面に戻ります。

- **フリガナを修正するには**
  ⟺ で修正したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナー で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。

■グループを選択する

グループを選択しなかった電話帳データは、「グループ0」に登録されます。

1 登録するグループを選択 ■

選択したグループが表示された電話帳登録画面に戻ります。

■電話番号と分類マークを入力する

電話帳1件につき、電話番号を最大3件まで登録できます。電話番号は32桁まで入力できます。

1 0 〜 9 で電話番号を入力 ■

2 登録する分類マークを選択 ■

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力した電話番号が電話番号1として表示されます。また、電話番号2を入力するための項目が追加されます。

■メールアドレスと分類マークを入力する

電話帳1件につき、メールアドレスを最大3件まで登録できます。また、メールアドレスは半角64文字まで入力できます。

1 メールアドレスを入力 ■

2 登録する分類マークを選択 ■

分類マークが設定され、電話帳登録画面に、入力したメールアドレスがメールアドレス1として表示されます。また、メールアドレス2を入力するための項目が追加されます。

■メモを入力する

メモは全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

1　メモを入力 ■

メモが表示された電話帳登録画面に戻ります。

■電話の着信時に表示される画像を設定する

画像を設定すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。設定できるのは、データフォルダ内に保存されている画像です。

1
- **1（設定なし）**
  画像の設定が解除されます。
- **2（データフォルダ）**
  でフォルダを選択後 ■ を押し、
  で画像データを選択して
  ■ を押します。

■短縮番号を設定する

短縮番号は、メモリNo.000～009の10件まで設定できます。短縮番号を設定した相手先には、メモリNo.の下1桁を入力するだけで簡単に電話をかけることができます。

1　1 ► で短縮番号を選択 ■

短縮番号が表示された電話帳登録画面に戻ります。

- 短縮番号を解除するには、短縮番号設定時に 2（OFF）を押します。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータを、シークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、暗証番号による認証を行わないと、電話帳にデータが表示されません。

1　1（ON）

シークレットが設定された電話帳登録画面に戻ります。

- **シークレットの設定を解除するには**
  2（OFF）

■電話やメールの着信音を選択する

指定着信音を設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、Eメールやライトメールの着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。

1
- **1（設定なし）**
  着信音の設定が解除されます。
- **2（固定サウンド）**
  本電話機に初めから用意されているパターンやメロディの一覧が表示されます。
  で 着信音を選択して ■ を押します。
- **3（データフォルダ）**
  でフォルダを選択し、 で着信音を選択して ■ を押します。

■電話やメールの着信イルミネーションを選択する

指定イルミネーションを設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。また、Eメールやライトメールのイルミネーションを登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定したイルミネーションが点灯します。

1　イルミネーションを選択 ■

イルミネーション名が表示された電話帳登録画面に戻ります。

- イルミネーションの設定を解除するには、イルミネーションの設定時に 1（設定なし）を押します。

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を登録する

発信履歴／着信履歴／メモの電話番号を、電話帳に登録することができます。登録方法には、名前を新しく入力して登録する「新規登録」と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する「追加登録」があります。

1　待ち受け画面で ► 必要に応じて、 で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

2　 で登録する電話番号を選択

- **1（新規登録）**
- **2（追加登録）**

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

次ページにつづく

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録してあるデータは、名前のフリガナの50音順･グループ･メモリNo.･名前の読み･電話番号・メールアドレスで検索して呼び出すことができます。この呼び出した電話帳データを使って、電話をかけられます。

1 待ち受け画面で ■ 6 1

電話帳の一覧画面が表示されます。
でも、同じ操作ができます。ただし、電話帳に1件もデータが登録されていない場合は、電話帳登録画面が表示されます。

2 相手先を検索する

電話帳の一覧画面は、前回使用したときと同じ方法で表示されるので、必要に応じて検索方法を切り替えます。次の6つの方法で検索できます。

- **あかさたな一覧で検索**
- **グループ一覧で検索**
- **メモリNo.一覧で検索**
- **読み検索一覧で検索**
- **電話番号で検索**
- **メールアドレスで検索**

3 相手先を選択 ■

電話帳詳細画面が表示されます。

4 電話帳詳細画面通常表示中、 で発信する電話番号に対応する分類マークを選択

5 ■ または

選択した電話番号に電話がかかります。

あかさたな一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で 1 1

2 表示する行を切り替え ► で相手先を選択

行を切り替えるには、 による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

● ダイヤルボタンで切り替えるには

ダイヤルボタンに書かれているひらがなが、50音の行に対応しています。例えば 3 を押すと「さ」行が表示されます。 # を押すと「あ」～「わ」行以外の名前が表示されます。

■待ち受け画面から直接、目的の行を表示させる

電話帳の表示方法があかさたな一覧に設定されているときは、待ち受け画面でダイヤルボタンを約1秒以上押すと、そのダイヤルボタンに書かれているひらがなに対応した行が表示されます。
例えば待ち受け画面で 3 を約1秒以上押す、「さ」行の電話帳が表示されます。

グループ一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で 1 2

2 で表示するグループを切り替え ► で相手先を選択

メモリNo.一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で 1 3

2 検索するメモリNo.を入力 ■

3 必要に応じて、表示するメモリNo.の範囲を切り替え ► で相手先を選択

メモリNo.の範囲を切り替えるには、 による方法と、ダイヤルボタンによる方法の2つの方法があります。

読み検索一覧で検索する

1 電話帳の一覧画面で 1 4

2 名前の読みを入力 ■ ► 相手先を選択

読みは、すべてを入力しなくても構いません。最初の文字だけを入力すれば、その読みで始まる名前がすべて検索されます。

電話番号で検索する

局番など、電話番号の一部で電話帳データを検索することができます。

1 電話帳の一覧画面で 2 ► 番号を入力 ■

番号は5桁まで入力できます。

2 で相手先を選択

留守録音／マナーモード／安全運転モード

留守録音を設定／解除する

「留守録音」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音できます。
相手のメッセージは、1件につき約3秒～60秒間録音できます。
相手のメッセージは、データ保存容量の範囲内で何件でも保存できます。

1 待ち受け画面で [■] [5] [5] [4]

2
- **設定 [1]（ON）**
- **解除 [2]（OFF）**

3 [0]～[9]で応答時間を入力 [■]

留守録音が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

お知らせ

- 待ち受け画面で [留守録] を約1秒以上押すことでも、留守録音を設定／解除できます。

留守録音から再生する

相手のメッセージが録音されると、待ち受け画面に録音メッセージの件数と「留守録音」が表示されます。この表示は、[クリア/マナー]を押すか、録音メッセージが再生されるまで表示されます。

1 待ち受け画面で [■] [5] [5] [5]

：再生されていない録音メッセージ
：再生済みの録音メッセージ

- **待ち受け画面に「留守録音　○○件」と表示されているときは**
  まだ再生していない留守録音メッセージがあります。この場合は、[■] を押すと最新の留守録音メッセージが再生されます。

2 [◇] で再生したい録音メッセージを選択 [■] ► [■]

選択された録音メッセージを再生します。再生が完了すると、再生完了音が鳴ります。[■] または [クリア/マナー]を押すまで、同じメッセージの再生を繰り返します。

マナーモードを設定する

公共の場所などで音を鳴らしたくないときに、マナーモードを設定できます。また、マナーモードの内容はお好みで設定できます。

1 待ち受け画面で [クリア/マナー] を約1秒以上押す

本機能を設定すると、待ち受け画面に「」「」「」が表示されます。

- **マナーモードを解除するには**
  マナーモード設定時に、待ち受け画面で [クリア/マナー] を約1秒以上押すと、マナーモードが解除され、「解除しました」と表示されます。

■「電話着信音量」「メール着信音量」「目覚まし音量」「スケジュール音量」のマナーモードの設定内容を変更する

マナーモードに設定したときでも、お好みの音量で音を鳴らすことができます。

1 待ち受け画面で
[■] [5] [5] [1] [1]

2 [2]～[5]のいずれか

3 [◇] で着信音量のレベルを選択 [■]
► [・]

設定が登録され、「登録しました」と表示されます。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに「安全運転モード」に設定しておくと便利です。電話がかかってきても、着信音やバイブレータ、バックライトなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。

安全運転モードにする

1 待ち受け画面で [#] を約1秒以上押す

お買い上げ時の設定では、安全運転モードが設定され、「電話機応答に設定しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

- **安全運転モードを解除するには**
  待ち受け画面で [#] を約1秒以上押すと、安全運転モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

音を調整する

着信音を設定する

着信メロディを設定する

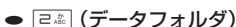
相手から着信したときの着信メロディを設定できます。着信メロディの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信メロディの設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で

[■][5][1][1][1][1]

2　● [1]（固定サウンド）

● [2]（データフォルダ）

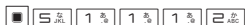
● [3]（公式サイトから探す）

3　[◇]で着信メロディを選択[■]

着信メロディが設定され、「設定しました」と表示されます。

着信音量を設定する

着信音量を調節できます。着信音量の設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時の着信音量の設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で

[■][5][1][1][1][2]

2　[◇]で着信音量のレベルを選択[■]

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

バイブレータを設定する

相手から着信したとき、音を鳴らさずにバイブレータでお知らせするように設定できます。バイブレータの設定は、公衆着信、Eメール着信、ライトメール着信、オフィス外線着信、オフィス内線着信、およびオフィス専用線着信のいずれの場合でも同じ手順で設定できます。以下は公衆着信時のバイブレータの設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で

[■][5][1][1][1][3]

2　バイブレータには6つのパターンがあります。[◇]でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

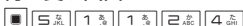
[1]～[7]**のいずれか**

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

メール着信時の鳴動時間を設定する

Eメールとライトメールを受信したときの鳴動時間を、1秒～60秒までで設定できます。以下はEメール着信時の鳴動時間の設定方法を例にしています。

1　待ち受け画面で

[■][5][1][1][2][4]

2　[0]～[9]で鳴動時間を入力[■]

メール着信時の鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

■お買い上げ時の設定値

機能	着信メロディ	鳴動時間	音量	バイブレータ	バックグランド受信通知
公衆着信	パターン1	－	音量3	OFF	－
Eメール着信	ジングル1	10秒			ON
ライトメール着信	ジングル2	10秒			－
オフィス外線着信	パターン4	－			－
オフィス内線着信	パターン6	－			－
オフィス専用線着信	パターン10	－			－

受話音量を設定する（受話音量／スピーカ音量）

電話先の相手の声を聞くときの受話音量を5段階で設定できます。ここで設定した受話音量は、スピーカに切り替えたときにも反映されます。

1　待ち受け画面で ■ 5 5 2

2　◇ で受話音量レベルを選択 ■

受話音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

ひそひそ通話を設定する（ひそひそ設定）

公共の場所などで小さな声でしゃべりたいときに、通話時の音を設定できます。この場合、小さな声で話しても相手には大きく聞こえます。また、相手の声も大きく聞こえます。

1　待ち受け画面で ■ 5 5 3 ▶ 1 (ON)

ひそひそ通話が設定されていると、通話中の画面に「ひそひそ通話中」と表示されます。

キー確認音を設定する（効果音）

ボタンを押したときに、キー確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 1 2 1

2　1 〜 5 のいずれか

キー確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

成功／エラー音を設定する（効果音）

各機能を設定したときに、成功音およびエラー音を鳴らすかどうかを選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 1 2 2

2
- **1 (ON)**
- **2 (OFF)**

成功／エラー音が設定され、「設定しました」と表示されます。

圏外／充電警告音を設定する（効果音）

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるとき、または電池の充電が必要となり「▮」が表示されるときに、圏外警告音および充電警告音を鳴らすかどうかを選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 1 2 3

2
- **1 (ON)**
- **2 (OFF)**

圏外／充電警告音が設定され、「設定しました」と表示されます。

送達確認音を設定する（効果音）

ライトメールを送信したときに、送達確認音を鳴らすかどうかを選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 1 2 4

2
- **1 (ON)**
- **2 (OFF)**

送信確認音が設定され、「設定しました」と表示されます。

保留音を設定する

保留音の種類を選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 1 3

2
- **1（固定サウンド）**
- **2（データフォルダ）**
- **3（公式サイトから探す）**

3　◇ で保留音を選択 ■

保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約0.5秒振動してそのことをお知らせするかどうかを選択できます。

1　待ち受け画面で ■ 5 7 4

2
- **1 (ON)**
- **2 (OFF)**

発信先応答通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。
  省電力モードの設定は、取扱説明書「省電力モードを設定する」（☞ 7-11ページ）をご覧ください。

明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル1」の明るさになります。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [1]

2　[1]～[4] のいずれか

明るさには4つのパターンがあります。[▲▼] でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。
[1]～[4] のいずれかを押すと明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [2]

2　[0]～[9] で点灯時間を入力 [■]

5秒～59秒までで入力できます。[◀▶] で入力したい箇所にカーソルを移動できます。
点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [3]

2　[1]～[4] のいずれか

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。「ON」に設定すると、通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル1」の明るさで点灯し続けます。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [4]

2
- **[1]（ON）**
- **[2]（OFF）**

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

キーライト点灯を設定する

キーライト（ボタンのバックライト）点灯の設定ができます。「ON」に設定すると、本電話機の動作時にキーライトが点灯します。本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [5]

2
- **[1]（ON）**
- **[2]（OFF）**

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

卓上ホルダでの充電中の点灯を設定する

卓上ホルダで充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。「ON」に設定すると、本電話機を卓上ホルダに置いてもバックライトはレベル1の明るさで点灯を続けます。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [6]

2
- **[1]（ON）**
- **[2]（OFF）**

卓上ホルダでの充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。

1　待ち受け画面で [■] [5] [3] [5] [7]

2
- **[1]（全てのキー）**
  キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル1の明るさで点灯します。
- **[2]（電源キーのみ）**
  キーロック中、消灯しているときに [PWR] を押すとレベル1の明るさで点灯します。

キーロック中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

着信ランプを設定する

イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、目覚まし、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション（点滅パターン）を設定できます。

1 待ち受け画面で ■ 5 3 6 1

2
- **1（電話着信）**
  電話着信時のイルミネーションが設定できます。
- **2（メール着信）**
  メール着信時のイルミネーションが設定できます。
- **3（スケジュール）**
  スケジュールの通知時のイルミネーションが設定できます。
- **4（目覚まし）**
  目覚まし鳴動時のイルミネーションが設定できます。
- **5（通話中）**
  通話時のイルミネーションが設定できます。

3 1〜4 のいずれか

点滅周期には3つのパターンがあります。
◇でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

4 1〜8 のいずれか

色には8つのパターンがあります。◇でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。1〜8のいずれかを押すとイルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。
  電話着信　　　：パターン1、アジュール
  メール着信　　：パターン2、ミント
  スケジュール：パターン3、シャンパン
  目覚まし　　　：パターン3、カナリア
  通話中　　　　：OFF

リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で ■ 5 3 6 2

2 1〜4 のいずれか

点滅周期には3つのパターンがあります。
◇でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

3 1〜8 のいずれか

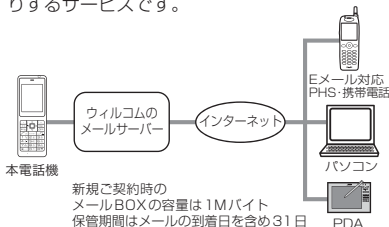
色には8つのパターンがあります。◇でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。1〜8のいずれかを押すとリマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

- **点滅中の着信ランプを消すには**
  ボタンを何か１つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、クリア/マナーを押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、ダイヤルロック中も着信ランプが消えません。

メールについて

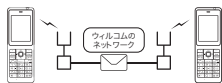
本電話機で利用できるメールには、Eメールとライトメールがあります。

Eメールについて

Eメールは、ウィルコムのメールサーバーを経由してインターネットに接続し、パソコンやEメール対応電話機などとメッセージをやり取りするサービスです。

お知らせ

- Eメールを使用するには、オンラインサインアップを行う必要があります。
- 本電話機に保存されているEメールやライトメールは、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によっても消失する場合があります。万一、保存されているメールが消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ライトメールについて

ライトメールは、インターネット経由ではなく電話機どうしで直接やり取りするメールです。

ライトメールで送受信できる文字数は文字のみの場合全角45文字(半角90文字)まで、アニメーション付きの場合全角44文字(半角88文字)までです。
ライトメールについては、取扱説明書「ライトメールを使用する」(☞ 3-28 ページ)をご覧ください。

お知らせ

- ライトメールを送信するときは、相手がライトメール対応電話機であることを確認してください。

- 本電話機はライトメールのフレームには対応していません。フレーム付きのライトメールが送信されてきても正しく表示されません。
- 相手の電話機によっては、ライトメール対応機種であっても送信した文字や絵文字が完全に表示されないことがあります。

メールメニューを表示する

Eメールとライトメールの作成・送信、受信したメールの表示、メールアカウントを取得するためのオンラインサインアップや設定などは、メールメニューから操作を行います。

1 待ち受け画面で [メール] または [■][1]

- [1] 受信BOX
- [2] 送信BOX
- [3] 未送信BOX
- [4] Eメール受信
- [5] Eメール作成
- [6] ライトメール作成
- [7] Eメールアカウント設定
- [8] オプション
- [9] オンラインサインアップ
- [0] インターネット設定

メールBOXについて

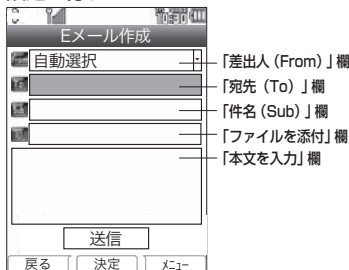
EメールとライトメールはメールBOXに保存されます。メールBOXには次の3種類があります。

メール BOX の種類

- 受信 BOX
  受信したメールが保存されます。
  8つのサブフォルダがあり、受信メールをサブフォルダに分けて整理することができます。
- 未送信 BOX
  送信待ちのメールや下書きメールが保存されます。
- 送信 BOX
  送信済みのメールが保存されます。

Eメールを新規に作成して送信する

1 待ち受け画面で [メール] または [■][1]

2 [5] ► [↕] で項目を選択し、入力・設定を行う

次の項目が入力・設定できます。

- **差出人（From）を設定**
- **宛先（To）を入力**
- **件名（Sub）を入力**
- **ファイルを添付**
- **本文を入力**

3 [↕] で「送信」を選択 [■]

Eメールが送信されます。
[送信]を押しても送信できます。送信中は、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名、送信件数が表示されます。送信が成功すると、送信した件数が表示されます。送信したEメールは送信BOXに保存されます。

お知らせ

- 未送信BOXと送信BOXのEメールの合計が120件ある場合や、新規作成に必要な容量が不足している場合にEメールを新規作成すると、保護されていないEメールのうち日付の古いものから削除されます。大切なメールは保護を設定してください。
- コピーガードされている画像やサウンドはEメールに添付することができません。
- 添付できるデータのサイズは1件あたり最大350Kバイトです。ただし、データの添付によってメールの合計サイズ（本文やヘッダ情報を含む）が512Kバイトを超える場合は、350Kバイト未満のデータでも添付できません。
- 宛先が未入力の場合は、[1]（送信待ち保存）は選択できません。
- Eメールは下書きを20件まで保存できます。ただし、未送信BOXと送信BOXの合計で120件を超える場合は保存できません。

差出人（From）を設定する

メールの差出人を設定します。

1 Eメール作成画面で [↕] で「From」を選択 [■] ► [↕] でアカウントを選択 [■]

「自動選択」を選択すると、現在の動作モードで設定されている送信メールアカウントが使用されます。

宛先（To）を入力する

Eメールの送り先となるメールアドレスを入力します。

1 Eメール作成画面で [↕] で「To」を選択 [■] ► [■] ► [2]

宛先入力画面が表示されます。アドレス編集画面でTo欄が選択された状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

● 電話帳から宛先を指定するには

アドレス編集画面で [■] を押し、[1]（電話帳を開く）を押します。電話帳が表示されるので、宛先のデータを検索し、登録されているメールアドレスを選択します。

2 メールアドレスを入力 [■] ► [・]

メールアドレスは半角64文字まで入力できます。

● 他の人に参考としてメールのコピーを送信するには

[↕]で宛先を選択し、[…]（メニュー）を押し、[2]（Ccに変更）または[3]（Bccに変更）を押します。また、Cc/Bcc欄をTo欄に戻すには、Cc/Bcc欄で […]（メニュー）を押し、[1]（Toに変更）を押します。

● 宛先を削除するには

[↕]で宛先を選択し、[…]（メニュー）を押します。選択されている宛先1件だけを削除する場合は [4]（削除）を、指定した宛先すべてを削除する場合は [5]（全削除）を押します。確認の画面が表示されるので「Yes」を選択して [■] を押すと、宛先が削除されます。

次ページにつづく

件名（Sub）を入力する

メールの件名を入力します。

1 Eメール作成画面で で「Sub」を選択

Subject入力画面が表示されます。
「Sub」を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

2 件名を入力

件名は全角40文字（半角80文字）まで入力できます。

ファイルを添付する

Eメールにデータフォルダのデータを添付して送信することができます。データフォルダに表示されるデータであれば、画像、サウンド、文書などの種類のデータでも添付することができます。

1 Eメール作成画面で で「」を選択 ►

データフォルダが表示されます。

2 添付するファイルを選択 ►

● 添付ファイルを削除するには

添付ファイルをメールから削除するには（データフォルダ上のデータ自体は削除されません）、で添付ファイルを選択し、（メニュー）を押します。選択されている添付ファイル1件だけを削除する場合は 1（削除）を、添付ファイルすべてを削除する場合は 2（全削除）を押します。確認の画面が表示されるので「Yes」を選択してを押すと、添付ファイルがメールから削除されます。

本文を入力する

メールの本文を入力します。

1 Eメール作成画面で で本文欄を選択

本文入力画面が表示されます。本文欄を選択した状態でダイヤルボタンを押しても表示できます。

2 本文を入力

全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます（改行は全角1文字に相当します）。

Eメールを受信する

受信したEメールは最大500件まで保存されます。受信できるEメールのサイズは1件あたり最大で約512Kバイト（ヘッダ、添付ファイルを含む）です。受信メール本文の最大文字数は、40000バイト（半角文字で40000文字、全角文字で20000文字）です。

自動でEメールを受信する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントのメールは、自動で受信することができます。自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。

お知らせ

- 受信によって受信BOXのEメールが500件を超える場合や、保存先の空き容量を超える場合は、保護されていない既読Eメールが日付の古い順に削除され、新しいEメールが受信されます。大切なメールは保護を設定してください。

手動でEメールを受信する

ウィルコムのメールサーバーにある未受信のEメールを手動で受信します。

1 待ち受け画面で メール または 1 ► 4

センターにある未受信のEメールがすべて受信されます。受信中は、受信件数と未受信メールの合計件数、進行状況を表わすプログレスバー、メールアカウント名が表示されます。
受信が完了すると、受信したアカウント名ごとに受信件数が表示されたあと、受信BOXが表示されます。

●「センターにEメールがあります」と表示されているときは

クリア/マナーまたは を押すとメッセージが消え、「センターメールあり」というポップアップが表示されます。この状態で を押すと、Eメールの受信が開始されます。

受信メールを表示する

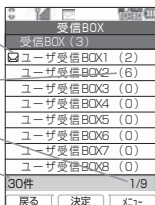
受信したメールは受信BOXに保存されます。受信BOXには、ユーザ受信BOX1 〜ユーザ受信BOX8の８つのサブフォルダもあり、設定により自動的に受信メールをサブフォルダに振り分けることもできます。

1 待ち受け画面で [メール] または [■][1]

● **待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されているときは**

まだ読んでいないメールが受信BOXにある場合は、待ち受け画面に「新着メール　○○件」と表示されます。この場合は、[■]を押すと受信BOXの新着メール一覧が表示されるので、手順３へ進んでください。

2 [1] ► [◇] でフォルダを選択 [■]

受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。新着メールのあるフォルダの左側には「✉」が表示されます。また、各フォルダの右側にはフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

● **フォルダ一覧を表示させないようにするには**

オプションの設定により、フォルダを表示せず受信BOXの各フォルダ全体のメール一覧を表示させることもできます。

● **フォルダ内のメール一覧に表示されるマークの意味について**

- ：新着メール
- ：未読Eメール
- ：既読Eメール
- ：未読ライトメール
- ：既読ライトメール
- ：保護メール
- ：不完全な新着メール※
- ：不完全な未読メール※
- ：不完全な既読メール※

※ 受信行数制限設定を「ON」にしている場合など、すべてのデータを受信しきれなかったときに表示されます。

画面下側には選択したメールの番号と全メール件数も表示されます。

3 [◇] でメールを選択 [■]

メールの詳細画面が表示されます。詳細画面に表示される内容は次のとおりです。

・メールの送信日時
（メールに送信日時の情報がない場合やライトメールの場合は受信日時）
・From：メールの差出人
・Reply：返信先
（指定されていない場合は表示されません）
・Sub：メールの件名
・[添付]：添付ファイル名
・メールの本文

● **前後のメールを表示するには**

[◁] で前のメール、[▷] で次のメールが表示されます。

4 [・]（戻る）

メール一覧に戻ります。

> **お知らせ**
>
> ▪ HTML形式のEメールは正しく表示することができません。

返信する

受信したEメールに返信をします。

1 受信メール詳細画面で [‥][1]

または、メール一覧でE メールを選択した状態で[‥]（メニュー）を押し、[1]（返信）を押します。
差出人のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。本文には受信メールの内容を引用することができます。

● **全員へ返信するには**

メール詳細画面で[‥]（メニュー）を押し、[2]（全員へ返信）を押します。差出人（From）、Ccの全員のメールアドレスが宛先に入力された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

転送する

受信したEメールを差出人とは別の人に送信します。

1 受信メール詳細画面で [‥][3]

本文に受信メールの内容が引用された状態でEメール作成画面が表示されます。

2 Eメールを作成して送信する

Webの基本操作

Webの利用を開始する／終了する

Webの利用を開始する

1 待ち受け画面で Web または ■ 3

Webメニューが表示されます。このメニューから、インターネット上のWebページへの接続や、ブラウザに関する設定を行います。

Webの利用を終了する

1 Webページの表示中に … 0

2 ◇ で「Yes」を選択 ■

公式サイトを表示する

ウィルコムの提供するポータルサイト「CLUB AIR-EDGE」に接続します。

1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 1

ブックマークを登録する

よく見るWebページは、ブックマークに登録することで簡単に接続することができます。
ブックマークは、10件のフォルダに各20件、合計200件まで登録することができます。

表示中のWebページをブックマークに登録する

1 Webページの表示中に … 4 1

2 ◇ で登録先のフォルダを選択 ■

Webページがブックマークに登録され、「ブックマークに登録しました」と表示されます。

ブックマークに登録したWebページに接続する

1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 3

2 ◇ でブックマークが登録されているフォルダを選択 ■ ► ◇ でブックマークを選択 ■

インターネット上のWebページを検索する（インターネット検索）

探している情報に関連したキーワードを指定して、インターネット上のWebページを検索することができます。

1 待ち受け画面で Web または ■ 3 ► 4

- **Webページの表示中にインターネット検索画面を表示するには**

  …（メニュー）を押して 6（ページ内操作）を押し、2（インターネット検索）を押します。

2 ◇ で「キーワード」欄を選択 ■ ► 検索キーワードを入力 ■

3 ◇ で「検索エンジン」欄を選択 ■ ► ◇ で利用する検索エンジンを選択 ■ ► …

検索エンジンは、Google、Infoseek、Yahoo!から選択できます。

4 ◇ で表示する検索結果を選択 ■

選択した検索結果への接続が開始されます。

Webページ内の文字列を検索する（文字列検索）

表示中のWebページ内にある、特定の文字列を検索することができます。

1 Webページの表示中に … 6 1

2 検索キーワードを入力 ■

3 ◇ で検索方向を選択 ■

検索方向は、「上方向に検索」と「下方向に検索」のいずれか一方を選択できます。

4 ◇ で設定する検索オプションを選択 ■

その検索オプションにチェックがつき、有効となります。

- **大文字と小文字を区別**
- **ページの先頭から検索**
- **単語検索**
- **ラウンド検索**

5 … ► 次の文字列を検索する場合 ■

ICレコーダを利用する

音声の録音や再生ができます。また、録音した音声データをEメールに添付できます。

音声を録音する

1　待ち受け画面で [■][8][3]

2　[1]（録音 本体保存）

「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順2のあとに「録音機能に入ると圏外状態となります　開始しますか?」と表示されるので、[▲]で「Yes」を選択し、[■]を押してください。

3　[■]（録音）

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。画面には、録音時間と録音可能時間が「時間：分：秒」の形式で表示されます。

● **録音を中止するには**

[クリア/マナー] または [PWR] を押すと、「録音を中止しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して [■] を押します。

4　[■]（停止）

録音停止音が鳴り、録音が停止します。本体へ保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、音声データが保存されます。

お知らせ

- 合計1000件まで保存することができます。
- 音声が十分な音量で録音できるように、マイクから近距離でお使いください。

保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音可能容量が足りなくなった場合、待ち受け画面に「 」が表示されます。この状態で音声データを録音しようとすると「空き容量が足りません　整理しますか？」と表示されます。不要なデータを整理する場合、「Yes」を選択して[■]を押します。データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。

録音優先モードを設定する

録音を電話着信、目覚まし、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

1　待ち受け画面で [■][8][3][3]

2　● [1]（ON）

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。目覚ましやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

● [2]（OFF）

録音前や録音中でも、電話の着信、目覚まし、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

音声を再生する

1　待ち受け画面で [■][8][3]

2　[2]（プレイリスト）

プレイリスト画面が表示されます。

：未再生のデータです。

：再生済みのデータです。

3　[◇]で音声データを選択 [■]

選択した音声データの録音日時、データ名、録音時間が表示されます。

4　[■]（再生）

再生が開始されます。

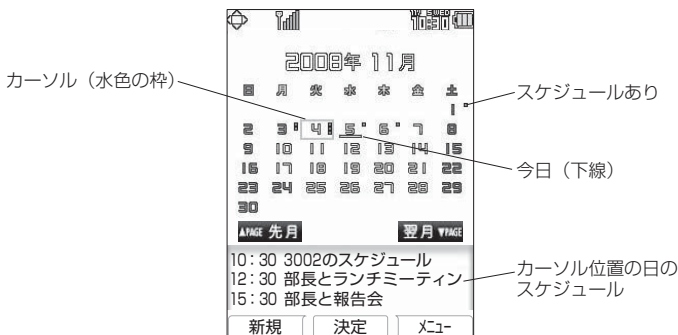
スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

1 待ち受け画面で ■ 4

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示されません。
カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。

2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

- ▶：翌日に移動します。
- ◀：前日に移動します。
- ▲：前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。
- ▼：翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。
- 保留▲：前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。
- ▼留守録：翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

お知らせ

- カーソルを移動するボタンを約１秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは2000年01月01日から2099年12月31日まで表示されます。
- 祝日データは2000年から2020年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー表示」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入りのカレンダーを表示することができます。

スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大1000件までスケジュールを登録できます。

1　待ち受け画面で ■ 4

2　登録したい日にカーソルを移動 ・（新規）
► ◇ で入力する項目を選択 ■
次の項目が入力・設定できます。

- 日時を入力
- 内容を入力
- 場所を入力
- 通知設定を入力

3　必要に応じて ◇ で入力する項目を選択 ■ ► 各項目を入力・設定
► ・ 登録
スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

スケジュールの内容を表示する

1日分のスケジュールを表示

1　待ち受け画面で ■ 4

2　スケジュールを表示する日付にカーソルを移動し ■
► ◇ でスケジュールを選択 ■

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

1週間分のスケジュールを表示

1　待ち受け画面で ■ 4

2　スケジュールを表示する週にカーソルを移動し … 1
► ◇ でスケジュールを選択 ■

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

全スケジュールを表示する

登録されているスケジュールをすべて表示することができます。

1　待ち受け画面で ■ 4

2　… 2
► ◇ でスケジュールを選択 ■

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

目覚ましを利用する

指定した日時に目覚ましを鳴らすことができます。目覚ましが鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。目覚ましを止めても約5分後に再び鳴らすスヌーズ機能もあります。目覚ましは3件登録できます。

1　待ち受け画面で ■ 8 2

2　◇ で登録する場所を選択 ► … で「ON」に切り換え ■ ► 1 〜 7 のいずれかを押し、設定を行う

どの項目からでも設定できます。
次の項目が設定できます。

- 1（時刻）
- 2（曜日設定）
- 3（目覚まし音）
- 4（音量）
- 5（バイブ）
- 6（鳴動時間）
- 7（スヌーズ）

3　必要に応じて各項目を設定 ► ・
目覚ましが登録され、「登録しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が表示されます。

- **目覚ましが鳴ったときに音を止めるには**

  いずれかのボタンを何か1つ押します。
  目覚ましの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

- **スヌーズの設定時、目覚ましが鳴ったあとに音や振動を止めるには**

  スヌーズ中の目覚まし音や振動は、いずれかのボタンを何か1つ押すと一時的に止められます。
  クリア/マナー または PWR を押すと、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して ■ を押すと、スヌーズが解除され、目覚まし音の繰り返しが停止します。

セキュリティに関する設定や機能

暗証番号による認証を行う（暗証番号変更）

電話帳ロック、ダイヤルロック、電話帳のシークレットデータの表示、リセット、機能ロックなどの操作を行う際には、暗証番号による認証が必要となります。
また、ここで説明する暗証番号のほかに、管理者の認証用にパスワードを登録することもできます。取扱説明書「管理者パスワードを設定する」（☞ 6-16 ページ）

暗証番号を設定する

暗証番号は、４～８桁で設定します。暗証番号には、０～９の数字と「＊」、「#」が使用できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1　待ち受け画面で [■] [9] [2]

2　[0]～[9]、[＊]、[#]で現在の暗証番号を入力 [■]

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、手順1の暗証番号変更画面に戻ります。

3　[0]～[9]、[＊]、[#]で新しい暗証番号を入力 [■]

4　確認のため、もう一度、[0]～[9]、[＊]、[#] で新しい暗証番号を入力 [■]

新しい暗証番号が設定され、「設定しました」と表示されます。

● **管理者パスワードがお買い上げ時の設定のままのとき**

「管理者パスワードが初期値です　暗証番号と同じ番号にしますか？」と表示されます。管理者パスワードを暗証番号と同じ番号に変更する場合は[▲]で［Yes］を、管理者パスワードを変更しない場合は[▼]で［No］を選択し、[■]を押します。取扱説明書「管理者パスワードを設定する」（☞ 6-16ページ）

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、修理で対応させていただきます。電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1　サイドロックスイッチを約１秒以上押す

キーロックが設定され、「キーロック」と表示されます。
サイドロックスイッチは本体右側の側面にあります。

キーロックを解除する

1　サイドロックスイッチを約１秒以上押す

キーロックが解除され、「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中でも、メール受信やアラームは動作します。Eメール受信時の着信音やバイブは、[PWR]を押すことで停止できます。
- キーロック中は、[PWR]を押して電源を切ることができません。
- キーロック中にサイドロックスイッチを約１秒押し、そのまま約２秒以上押すと、再びキーロックが設定されます。
- 待受画面以外でもキーロックは設定できますが、そのまま10分経つと待受画面に戻ります。

ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。

お知らせ

- ダイヤルロック中でも、以下の操作は可能です。
  - ・電源のON・OFF
  - ・着信電話への応答
  - ・通話の保留
  - ・留守録音
  - ・110番、118番、119番の緊急通報への発信
  - ・メールの受信など

キーロック時にダイヤルロックする（キーロック起動）

キーロック起動を設定すると、キーロックを設定した際、自動的にダイヤルをロックします。
キーロック起動を設定するには、暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で [■][9][1][1]

2 暗証番号認証を行う

3 [1]（ON）

キーロック起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

4 サイドロックスイッチを約１秒以上押す

キーロックと同時に、ダイヤルロックが実行されます。待ち受け画面に「[D]」が表示されます。

- キーロック起動を解除するには、キーロック起動設定時に[2]（OFF）を押します。

■ダイヤルロックを解除するには

1 画面上に「キーロック」表示されている場合は、サイドロックスイッチを約１秒以上押す

画面上に「キーロック」表示されていない場合は、手順2から操作します。

2 [0]～[9]のいずれか

3 暗証番号認証を行う

ダイヤルロックが解除され、「[D]」の表示が消えます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（タイマ起動）

待ち受け画面表示のまま操作していない状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかるように設定することができます。
自動的にダイヤルロックがかかるまでの時間は、１～99分の間で設定できます。また、タイマ起動を設定／解除するには、暗証番号の入力が必要になります。

1 待ち受け画面で [■][9][1][2]

2 暗証番号認証を行う

3 [1] ► [0]～[9]で時間を入力[■]

タイマ起動が設定され、「設定しました」と表示されます。

- タイマ起動を解除するには、タイマ起動設定時に[2]（OFF）を押します。

■ダイヤルロックを解除するには

1 [0]～[9]のいずれか

2 暗証番号認証を行う

ダイヤルロックが解除され、「解除しました」と表示された後「[D]」の表示が消えます。
この場合、待ち受け画面表示のまま操作していない状態が設定した時間だけ続くと、再度タイマ起動が実行されます。

発信者番号通知を設定する（番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機のディスプレイに表示するかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で [■][5][7][3]

2 [1]（ON）

発信者番号通知が設定され、「設定しました」と表示されます。

- 番号通知を解除するには、番号通知設定時に[2]（OFF）を押します。

番号非通知の電話を受けない（非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手にお断りガイダンスを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で [■][5][7][1]

2
- **[1]（通知不可能）**
  相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたときは、電話を受けません。
- **[2]（ユーザ非通知）**
  相手が発信者番号非通知を設定しているときは、電話を受けません。
- **[3]（公衆電話発信）**
  相手が公衆電話からかけてきたときは、電話を受けません。

3 [1]（ON）

非通知ガードが設定され、「設定しました」と表示されます。続けて他の項目を設定するときは、手順2、3を繰り返します。

- 非通知ガードを解除するには、非通知ガード設定時に[2]（OFF）を押します。

次ページにつづく

非通知ガードを設定した場合の動作

- **番号非通知の電話がかかってくると**
  着信音を鳴らさずに、相手にお断りガイダンスを流します。ディスプレイには「お断りガイダンス再生中」と表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。お断りガイダンスの再生中は[通話]を押して電話に出ることができます。着信のあったことは、不在着信として着信履歴に記録されます。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときや、ライトメールやデータが送信されてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音・バイブ・着信画面表示は動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。登録件数は10件までです。
着信拒否に登録した相手から着信した場合、着信履歴には「拒否」と表示されます。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で[■][5][7][2]

2 暗証番号認証を行う
認証されると、着信拒否番号の一覧画面が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。

3 [・] ► [1]～[3]のいずれかを押し着信拒否する番号を入力

4 [■]（登録）
着信拒否番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

特定の番号で始まる電話をすべて拒否する

手順3の「直接入力」で番号のあとに「＊」を付けると、先頭から「＊」までの番号で始まる電話番号からの着信はすべて拒否されます。例えば「0901＊」と入力すると、「0901」で始まる電話番号すべてが拒否対象になります。

お知らせ

- 以下の場合は登録できません。
  ・「＊」が電話番号の先頭に入力されている場合
  ・「＊」が2つ以上入力されている場合
  ・「＊」の後ろに番号が入力されている場合

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送信することで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

詳しい設定は、取扱説明書「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞6-10ページ）をご覧ください。

ユーザの情報をロックする（機能ロック）

本電話機内に保存されているユーザの情報を保護するために、一部の機能をロックすることができます。機能ロックを設定すると、機能を使うときやデータを閲覧するときに暗証番号による認証が必要になります。

詳しい設定は、取扱説明書「ユーザの情報をロックする（機能ロック）」（☞6-14ページ）をご覧ください。

管理者による制限を行う（管理者ロック）

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。

・Eメール機能
・ダイヤルアップ機能
・Java™機能
・着信機能
・赤外線送信
・機能ロック設定
・リモートロック設定
・Web機能
・USB接続機能
・発信機能
・先頭一致発信許可
・位置情報通知設定
・ダイヤルロック設定

詳しい設定は、取扱説明書「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞6-16ページ）をご覧ください。

設定をリセットする（リセット）

設定した各機能や登録内容を、お買い上げ時の状態（ディスプレイ「明るさ」「点灯時間」「キーライト点灯」は除く）に戻すことができます。

詳しい設定は、取扱説明書「設定をリセットする（リセット）」（☞6-23ページ）をご覧ください。

利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

待受モードを切り替える（待受モード設定）

1　待ち受け画面で ■ 5 6 1

2
- **1　公衆モード**
  ウィルコムの公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。
- **2　オフィスモード**
  事業所用コードレスシステムの子機として使います。
- **3　公衆/オフィスモード（デュアルモード）**
  公衆モードとオフィスモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
  は上側が公衆、下側がオフィスの状態を表示します。
- **4　グループモード**
  グループモード対応電話機どうしで、トランシーバとして使います。
- **5　公衆/グループモード（デュアルモード）**
  公衆モードとグループモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
- **6　転送モード**
  グループモード対応電話機どうしで、電話帳データやブックマークを送受信します。

待受モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

- 待ち受け画面で ■ を押しても、待受モード設定画面が表示されます。

オフィスモード、および公衆/オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で本電話機が登録されている必要があります。
グループモード、および公衆/グループのデュアルモードでグループ通話や電話帳/ブックマーク転送を行うには、本電話機1台に加えて、グループモードに対応した端末1台以上が必要です。

オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。
また、「ダイヤルアップ」で、接続先として事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどを設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。

- 事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけかたなど操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
- 対応するPBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

電話をかける

1　内線の場合、相手の電話番号を入力
外線の場合、外線発信番号を付けて相手の電話番号を入力

2　または ■

3　通話が終わったら

- 電話帳に登録された電話番号に、オフィス発信または公衆発信の発信方法を指定することができます。
  取扱説明書「電話帳で発信方法の指定をする」（☞8-5ページ）

お知らせ

- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。

次ページにつづく

電話を転送する

1 通話中に［保留/文字］
通話が保留になります。

2 転送先の電話番号を入力

3 転送先につながったら、取り次ぐことを伝えて［PWR］

転送先につながる前に［PWR］を押しても、電話は転送されます。転送先では、電話を受けるとすぐに相手とつながります。

外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、発信履歴、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに［Web］を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的に付けることができます。もう一度［Web］を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で［■］［5］［7］［9］

2 ［0］～［9］ のいずれか
オフィスモードの番号が複数登録されている場合、外線発信番号を登録するオフィスモードの番号に対応したダイヤル番号を押します。

3 ［0］～［9］、［＊］、［＃］で外線発信番号を入力［■］

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

> **お知らせ**
> - 外線発信番号は６桁まで入力できます。

自動的に外線発信番号を付ける（自動外線発信番号付加）

オフィスモードで0から始まる10桁以上の番号に発信する場合に、先頭に自動的に「外線発信番号」で登録した番号を付加します。

1 待ち受け画面で［■］［5］［7］［0］

2 ［1］（ON）

自動外線発信番号付加が設定され、「設定しました」と表示されます。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆／オフィス」または「公衆/グループ」に設定しているときに、どちらのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1 待ち受け画面で［■］［5］［7］［8］

2
- **［1］（公衆優先）**
  公衆モード優先に設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Gr」が表示されます。
- **［2］（オフィス、グループ優先）**
  オフィスモードまたはグループモード優先に設定され、待ち受け画面に「PHS OFFICE」または「PHS Gr」が表示されます。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆／オフィス」に設定しているとき、一時的にモードを切り替えて発信することができます。どちらかのモードが圏外のときは、切り替えることはできますが、切替先が圏外のため発信できません。

1 相手の電話番号を入力［メール］

2 ［通話］ または［■］

相手が出ると通話できます。

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「トランシーバ通話」および「グループ内での電話帳やブックマーク転送」を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは３つまで登録できます。
送信側１台と受信側１台以上の間で双方向に、または受信側どうしで、トランシーバ通話および電話帳／ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆／グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆／グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。

詳しい設定は、取扱説明書「グループモードで使う」（☞ 8-7ページ）をご覧ください。

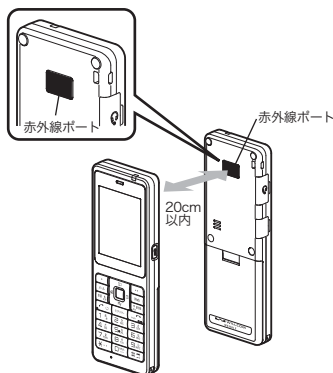
赤外線通信を行う

赤外線通信により、本電話機どうしや赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳のデータやプロフィール、画像データをやり取りすることができます。

赤外線通信の利用のしかた

赤外線通信を行うには、送信側と受信側がそれぞれ準備をする必要があります。通信時は電話機の赤外線ポートどうしを向い合わせ、20cm以内の距離に近づけてください。また、通信が終わるまでは電話機は動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータは、電話帳の1件または全件です。1件の場合、電話帳に設定されている画像（JPEG、GIF、PNG、BMPのみ）もいっしょに送受信されます。
- 電話帳はvCard形式で送信されます。
- 受信できるデータの容量は1.25Mバイトまでです。容量によっては、通信に時間がかかる場合や正しく受信できない場合があります。
- 赤外線通信機能を使った電話帳の転送は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信を使ってプロフィールや画像データも送信することができます。

赤外線通信で受信する

本電話機を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

1　待ち受け画面で ▣ 7ま PQRS

2　赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向ける

送信側から送信が始まると、自動的に受信が始まり、「データ受信中」と表示されます。

3　受信データに応じて操作する

お知らせ

- 1件の電話帳データまたは画像データを受信した場合、受信データが1.25MBをこえた場合「サイズオーバーです受信できません」と表示され、データは登録されません。
- 電話帳の全件を受信した場合、上書き登録時に、先頭のデータはプロフィールに登録されます。追加登録時は電話帳に登録されます。
- 相手の電話機によっては、受信および送信できないデータもあります。
- 受信した電話帳データに電話番号とメールアドレスの情報がない場合、電話番号として「＊＊＊＊」が登録されます。
- 他社の電話機において設定された、絵文字を伴う電話帳データを受信した場合、正しく受信できないことがあります。
- 受信した電話帳データに名前がない場合、フリガナ、電話番号、メールアドレス、受信日時の優先順位で、これらのいずれかが名前として登録されます。

ウィルコムのサービスを利用する

国際ローミング（有料）

取扱説明書「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」(☞7-53 ページ)

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナム、中国でも利用できるようになります。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

ウィルコム国際電話サービス

取扱説明書「国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）」(☞7-56 ページ)

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。相手先電話番号の前に、010 と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。

ウィルコム位置検索サービス（有料）

取扱説明書「位置情報を利用する」(☞7-32 ページ)

位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、発信型（自己位置通知機能）と着信型（位置検索機能）があります。基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

料金分計サービス（有料）

取扱説明書「料金分計サービスを利用する（有料）」(☞7-57 ページ)

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を 2 箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめお申し込みが必要です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

留守番電話サービス（有料）

取扱説明書「留守番電話サービスを利用する（有料）」(☞7-57 ページ)

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

着信転送サービス

取扱説明書「着信転送サービスを利用する」(☞7-58 ページ)

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

高速化サービス（有料）

取扱説明書「高速化サービスを利用する(高速化サービス追加設定)(有料)」(☞7-59 ページ)

「高速化サービス」とは、ウィルコム経由のパケット通信時に、通信プロトコルや画像ファイルの最適化を行い、ブラウジングの体感通信速度を高速化させるサービスです。高速化サービスをお申し込みいただいている場合は、最適化後の画質と速度のバランスをお好みに応じて設定できます。
高速化サービスは、オンラインサインアップ画面から設定してください。
高速化サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

ビジネス安心サービス（有料）

取扱説明書「ビジネス安心サービスを利用する（有料）」(☞7-60 ページ)

法人でまとめて WX330J E を利用するときなどの端末管理者は、本電話機の各種機能の設定、ソフトウェア更新、電話帳のダウンロードなどの操作をリモートで管理することができます。
ビジネス安心サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞裏表紙）

ソフトウェアを更新する

本電話機に内蔵されているソフトウェアがバージョンアップされた場合、インターネット経由で最新のソフトウェアに更新することができます。

ご注意

- ソフトウェア更新を安全に完了させるため、以下の点に注意してください。
  - ソフトウェア更新は、電池マーク表示が2本以上の状態で行ってください。
  電池マーク表示が 1 本以下の場合は、ソフトウェア更新は行われません。
  - ソフトウェア更新は電波の強い場所で行ってください。
  - ソフトウェア更新を実施している間は、手順に記載されている以外の操作を行わないでください。
- ソフトウェア更新は、ブラウザの表示モードをケータイモードに設定してから行ってください。
- ソフトウェア更新を行うときは、オンラインサインアップが必要です。オンラインサインアップは、ソフトウェア更新メニューから行うことができます。
- オンラインサインアップは、「管理者ロック」および「機能ロック」の設定による制限を受けます。そのため、オンラインサインアップができない場合には、必要に応じて「管理者ロック」および「機能ロック」の設定を解除してください。
- ソフトウェア更新は、無料で行えます。
- ソフトウェア更新中は、その他の操作は行えません。
- 「管理者ロック」の「Web制限」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。
- 「機能ロック」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。したがって、「メール/Web/Java™」制限中でもソフトウェアの更新は可能です。

1　公衆モードになっていることを確認する

2　待ち受け画面で [■] [5] [9] [2]

更新サーバに接続されます。ソフトウェアのダウンロードが完了すると「バージョンアップを開始します　よろしいですか？」と表示されます。

3　[▲] で「Yes」を選択 [■]

数回再起動後、ソフトウェア更新が完了し、待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は、着信はできません。
- ソフトウェア更新はインターネット経由で行われますが、接続料金は課金されません。
- 機能ロックや管理者ロックでWeb機能をロックしていても、ソフトウェア更新は行えます。

定格・仕様

■ **電話機**	無線周波数帯	1900 MHz 帯
	送信出力	10 mW（平均）
	電源	DC 3.7V 630mAh リチウムイオン電池パック
	外形寸法	約 43 mm(幅) × 11.3 mm（奥行き）× 122 mm（高さ）
	質量（電池パック含む）	約 80g
	連続待受時間	約 700 時間（公衆モード、省電力モード「ON」設定時）
	連続通話時間	約 6.5 時間（公衆モード）
■ **ACアダプタ**	外形寸法	約 49 mm(幅) × 20 mm（奥行き）× 53 mm（高さ）
	質量	約 54 g
	電源	AC 100 V（50/60 Hz）
	出力	5.0 V、550 mA
■ **卓上ホルダ**	外形寸法	約 62 mm(幅) × 62 mm（奥行き）× 36 mm（高さ）
	質量	約 28 g

メニュー 一覧表

メニュー					機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	取扱説明書参照ページ
					公衆	オフィス	グループ		
メール	11	受信 BOX			○	○	×	あらかじめセットされたメール1件	3-12
	12	送信 BOX			○	○	×	−	3-16
	13	未送信 BOX			○	○	×	−	3-10
	14	E メール受信			○	○	×	−	3-11
	15	E メール作成			○	○	×	−	3-7
	16	ライトメール作成			○	○	×	−	3-28
	17	E メールアカウント設定			○	○	×	−	3-26
	18	オプション			○	○	×	−	3-23
	19	オンラインサインアップ			○	×	×	−	3-6
	10	インターネット設定			○	○	×	−	4-26
データフォルダ	2				○	○	○	−	7-38
Web	31	公式サイト			○	×	×	−	4-2
	32	ホーム			○	○	×	公式サイト	4-5
	33	ブックマーク			○	○	×	21件	4-9
	34	インターネット検索			○	○	×	−	4-12
	35	履歴			○	○	×	−	4-7
	36	ページメモ			○	○	×	−	4-13
	37	Web ページを開く			○	○	×	−	4-6
	38	オプション			○	○	×	−	4-5、20
	39	インターネット設定			○	○	×	−	4-26
スケジュール	4				○	○	○	通知設定：通知しない スケジュール音：アラーム 1、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：30 秒	7-18
機能設定	51	音	着信	公衆着信	○	×	○	着信メロディ：パターン 1、音量：3 バイブ：OFF	2-39
				E メール着信		○	×	着信メロディ：ジングル 1、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒 バックグランド受信通知：ON	
				ライトメール着信				着信メロディ：ジングル 2、音量：3 バイブ：OFF、鳴動時間：10 秒	
				オフィス外線着信	×			着信メロディ：パターン 4、音量：3 バイブ：OFF	
				オフィス内線着信				着信メロディ：パターン 6、音量：3 バイブ：OFF	
				オフィス専用線着信				着信メロディ：パターン 10、音量：3 バイブ：OFF	
			効果音		○	○	○	キー確認音：パターン A	2-45
								成功 / エラー音：ON	2-45
								圏外 / 充電警告音：ON	2-46
							×	送達確認音：ON	2-46
			保留音		○	○	×	グリーンスリーブス	2-46
			イヤホン装着時鳴動先		○	○	○	本体	7-36
	52	日付 / 時刻	時計設定		○	○	○	2008 年 1 月 1 日 00:00	1-21
			自動補正		○	○	×	ON	7-8

メニュー					機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	取扱説明書参照ページ
					公衆	オフィス	グループ		
機能設定	53	画面	壁紙		○	○	○	Tile（Black）	7-40
			画面配色		○	○	○	白（透過あり）	7-8
			時計表示		○	○	○	画面パターン：大（日本語） 表示位置：画面中央、色：白	7-7
			カレンダー表示		○	○	○	OFF	7-8
			ディスプレイ		○	○	○	明るさ：レベル 2、点灯時間：8秒 消 灯 時 間：30 秒 後 通 話 中 点 灯：OFF、キーライト点灯：OFF 卓上充電器充電中点灯:OFF キーロック中点灯: 電源キーのみ	7-9
			着信ランプ	イルミネーション	○	○	○	電話着信：パターン 1、アジュール	7-10
					○	○	×	メール着信：パターン 2、ミント	
					○	○	○	スケジュール：パターン 3、シャンパン	
					○	○	○	目覚まし：パターン 3、カナリア	
					○	○	×	通話中：OFF	
				リマインダー	○	○	×	パターン 1、カラフル	
			省電力		○	○	○	OFF	7-11
			言語選択		○	○	○	日本語－ Japanese	7-12
			シンプルメニュー		○	○	×	OFF	7-14
	54	文字入力	ユーザ辞書		○	○	○	－	2-17
			自作定型文登録		○	○	○	－	2-22
			学習文字クリア		○	○	○	－	2-17
	55	マナー/留守電	マナー登録	マナーモード	○	○	○	バイブ：ON 電話着信音量・メール着信音量・ 目覚まし音量・スケジュール音量・ 効果音・留守録音設定：OFF	2-43
				オートサイレント	○	○	○	OFF	
			受話音量		○	○	○	VOL.4	2-39
			ひそひそ設定		○	○	○	OFF	2-39
			留守録音設定		○	○	×	OFF、応答時間設定：10 秒	2-48
			留守録音再生		○	○	×	－	2-48
			留守番電話 (NW)		○	×	×	－	7-57
			安全運転モード		○	○	×	OFF、電話機応答	2-44
	56	通信	待受モード		○	○	○	公衆	8-2
			グループ / 転送		×	×	○	－	8-7
			位置情報通知		○	×	×	位置情報通知 LI：OFF 自動位置情報送出設定：OFF	7-34
			インターネット設定		○	○	×	－	4-26
			通信中着信		○	○	×	音声 , PIAFS 通信中着信:ON パケット通信中着信：ON	5-17
			データ通信方式		○	○	×	ベストエフォート型	5-14
			国際ローミング		○	×	×	国・地域／事業者選択：日本 /ウィルコム	7-53
			オフィス番号切替		×	○	×	手動切替	8-6
	57	発着信	非通知ガード		○	○	×	通知不可能・ユーザ非通知 ・公衆電話発信：OFF	6-3
			着信拒否		○	○	×	未登録	6-4
			番号通知		○	○	×	ON	6-2
			発信先応答通知		○	○	○	OFF	2-47
			エニーキーアンサー		○	○	×	OFF	7-12
			イヤホン自動応答		○	○	×	OFF	7-36
			サブアドレス		○	○	×	ON	7-12
			優先発信切替		○	○	○	オフィス、グループ優先	8-5
			外線発信番号		×	○	×	未登録	8-4
			自動外線発信番号付加		×	○	×	OFF	8-4

次ページにつづく

メニュー				機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	取扱説明書参照ページ
				公衆	オフィス	グループ		
機能設定	58	カスタムボタン	公衆待受画面	○	×	×	−	7-15
			公衆通話中画面	○	×	×	[・] :H-Free、[‥] ：電話帳	
			オフィス待受画面	×	○	×	−	
			オフィス通話中画面	×	○	×	[・] :H-Free、[‥] ：電話帳	
	59	その他	USB 充電	○	○	○	高速	7-6
			ソフトウェア更新	○	×	×	−	7-62
			電源 OFF メニュー	○	○	○	ON	1-11
電話帳	61	電話帳一覧		○	○	○	表示方法：あかさたな一覧	2-32
	62	新規登録		○	○	○	−	2-28
	63	グループ設定		○	○	○	−	2-34
	64	ロック中着信表示		○	○	×	OFF	2-35
	65	シークレット一時表示		○	○	○	−	2-35
	66	登録件数表示		○	○	○	−	2-35
	67	全件削除		○	○	○	−	2-34
赤外線受信	7			○	○	○	−	2-37
アクセサリ	81	電卓		○	○	○	−	7-26
	82	目覚まし		○	○	○	時刻：0:00、曜日設定：一度きり、目覚まし音:アラーム 2、音量:音量 3 バイブ:パターン 3、鳴動時間:30 秒 スヌーズ：OFF	7-24
	83	IC レコーダ		○	○	○	録音優先モード設定：ON	7-27
	84	メモ帳		○	○	○	−	7-30
	85	Java™ アプリ		○	○	×	プリセットアプリ　3件	7-44
	86	マイメニュー		○	○	○	オンラインサインアップ、公式サイト Java ™アプリ	2-50
セキュリティ	91	ダイヤルロック		○	○	○	キーロック起動 :OFF タイマ起動 :OFF、5 分	6-8
	92	暗証番号変更		○	○	○	0000	6-6
	93	メモリ使用状況 / 全削除		○	○	○	−	7-51
	94	リモートロック		○	○	×	許可パスワード登録：− サブアドレス起動：OFF ライトメール起動：OFF	6-10
	95	リセット		○	○	○	−	6-23
	96	機能ロック		○	○	○	すべて OFF	6-14
	97	管理者パスワード変更		○	○	○	0000	6-16
	98	管理者ロック※		○	×	×	OFF（先頭一致発信許可：未登録 許可ドメイン登録：未登録）	6-16

○：機能を使うことができます。
×：機能を使うことができません。

※ USB 制限、赤外線制限、設定制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

お知らせ

- メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で [■] に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信BOX」の数字は「11」なので、[■][1][1] を押すことで表示することができます。

商標・登録商標

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OSはApple Inc.の登録商標です。
- 本電話機は、日本語入力エンジンとして「かな漢字変換ライブラリFSKAREN®」を搭載しています。FSKAREN®は富士ソフト株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESS の日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
  © 2009 ACCESS CO.,LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

NetFront®
Mobile Client Suite

- Sun™、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java™、Java™関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本電話機は、Red Bend Software社のソフトウェアを搭載しています。
  Copyright© Red Bend Software, Inc. 1999-2009

redbend
software

- FlashFX®is a registered trademark of Datalight, Inc.
  FlashFX®Copyright 1998-2009 Datalight, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
  FlashFX®Pro ™ is a trademark of Datalight, Inc.
  Datalight®is a registered trademark of Datalight, Inc.
  Copyright 1989-2009 Datalight, Inc., All Rights Reserved
- IrDA Protocol Stack 「DeepCore®3.0+」©E-Globaledge Corp. All Right Reserved.

・ その他、本取扱説明書に記載されている会社名・システム名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

補修用性能部品の最低保有年数について

当社では、本製品の性能を維持するために必要な補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

ご注意

- この電話機は、容易に開けられない構造となっております。むやみに中を開けて改造すると電波法に触れます。また、改造されますと修理をお引き受けできませんのでご注意ください。
- 修理内容により、電話帳の内容、受信メール、送信メール、録音データ、サイトからダウンロードした画像やメロディなどのお客様が登録・保存されたデータが消失する場合があります。大切な情報はあらかじめメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを保管してください。
- 商品の故障・誤動作・電池の消耗、または停電などの外部要因で本電話機が使用できなかったことによる、通話および通話料金などの間接的損害または付随的補償については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容（加入・変更・引越等）
- 基本料金・通話料等
- オプションサービス
- サービスエリア
- 本電話機の修理
- 本電話機の紛失
- その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

■お申し込み・お問い合わせ　［受付時間］10:00 ～ 18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］116　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-156

■データ通信に関するお問い合わせ　［受付時間］10:00 ～ 18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から ［局番なしの］157　一般加入電話・携帯電話などから 0120-921-157

● お申し込み・各種お手続きは、一部を除き自動音声応答にて、24時間受付しております。
● コース変更や住所変更などは、インターネット上でも行えます。
▶ ウィルコムストア「My WILLCOM」へアクセス　https://store.willcom-inc.com/my/

ホームページ　http://www.willcom-inc.com/

本電話機に関するご相談

■ご相談窓口（JRCサポートセンター）受付時間：平日のみ 9:00 ～ 17:00

- 本電話機・携帯電話から　0422-45-7772
- 一般加入電話・公衆電話から　0570-003899（ナビダイヤル）
- サポートWebサイト　http://www.jrcphs.jp/

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。
<利用目的>
ご相談窓口でお受けした個人情報は、本電話機に関するご相談、お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

■修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、取扱説明書の「故障かな？ちょっと確認してください」（☞ 9-2 ページ）をお読みのうえご確認ください。それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、ウィルコムサービスセンターにご相談ください。

◎ **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容により、無料修理いたします。

◎ **保証期間を過ぎているとき**
修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

◎ **連絡していただきたいこと**
- 製品名、お買い上げ年月日
- 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
- お客様のご氏名、ご住所、お電話番号

本取扱説明書の内容は2009年10月現在のものです。

この「取扱説明書」は環境にやさしい大豆油インキを使用しております

7ZPAN0184A
2009.10　第1.1版